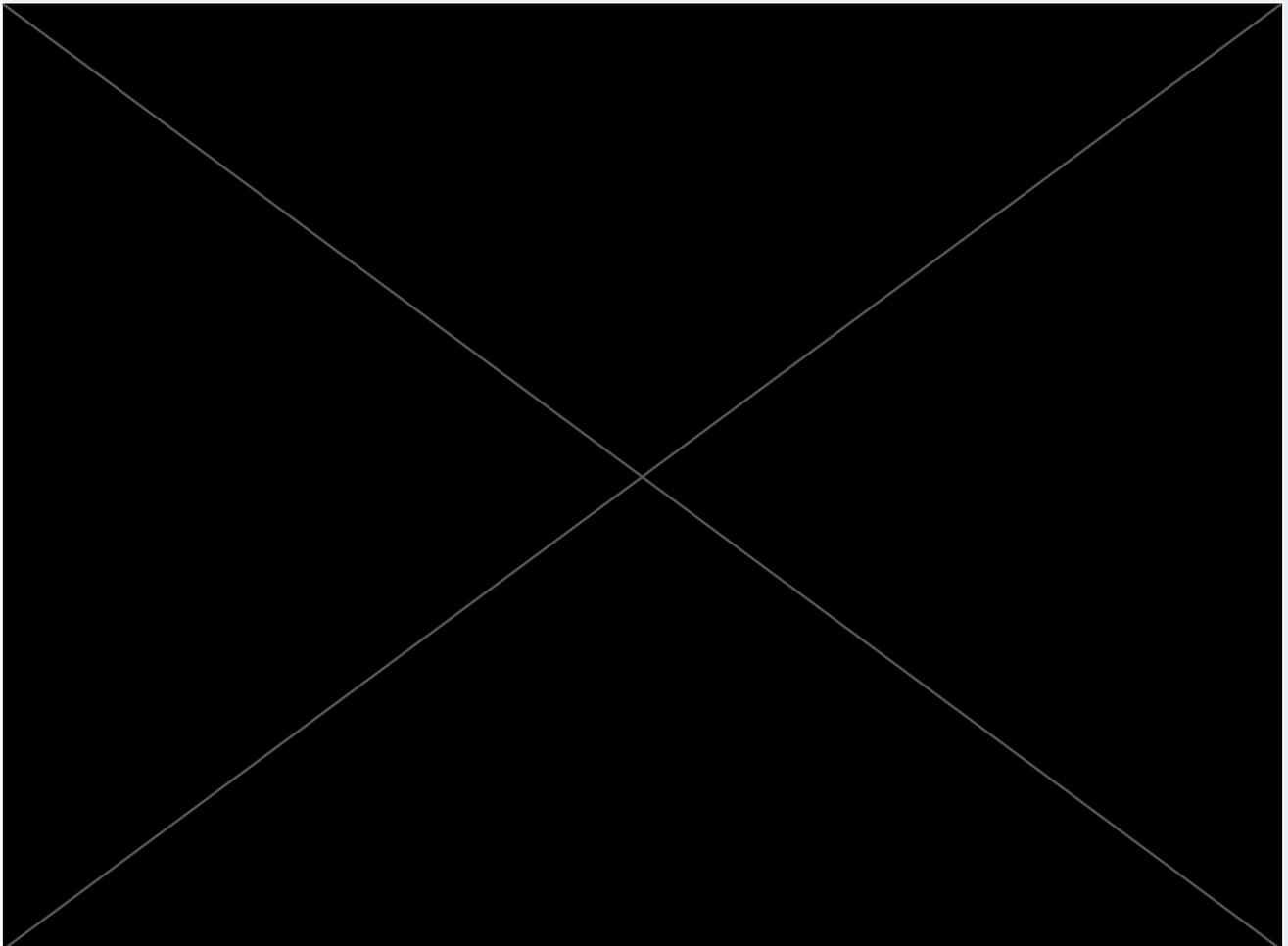


# 2024年\_<A-2>新保育サービス自己評価問題

9件の回答

[分析を公開](#)

回答にかかる時間：約15分



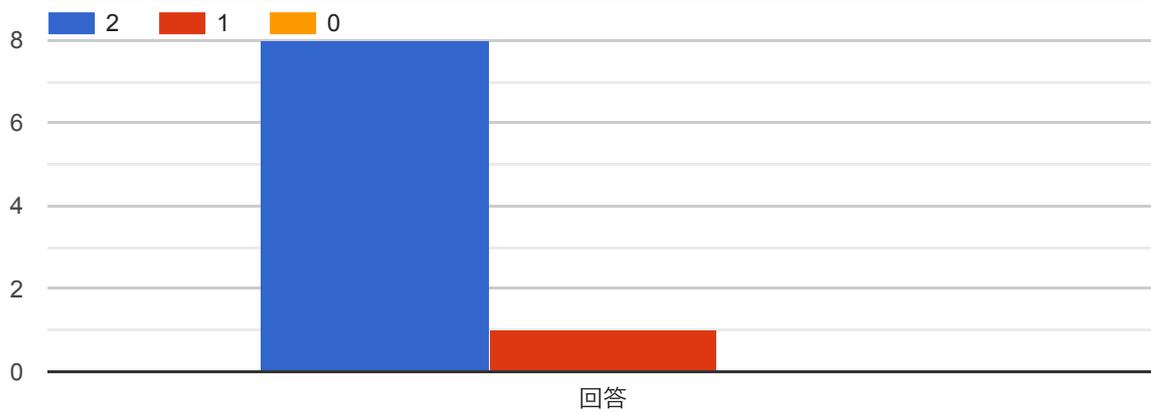
A-2 子どもの生活と発達 セクション1

A-2-(1) 生活と発達の連続性

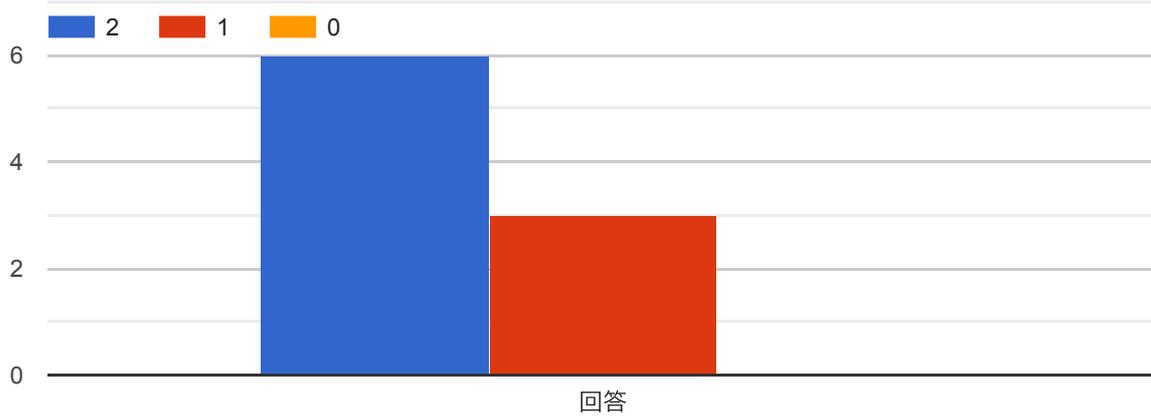
A-2-(1)-①



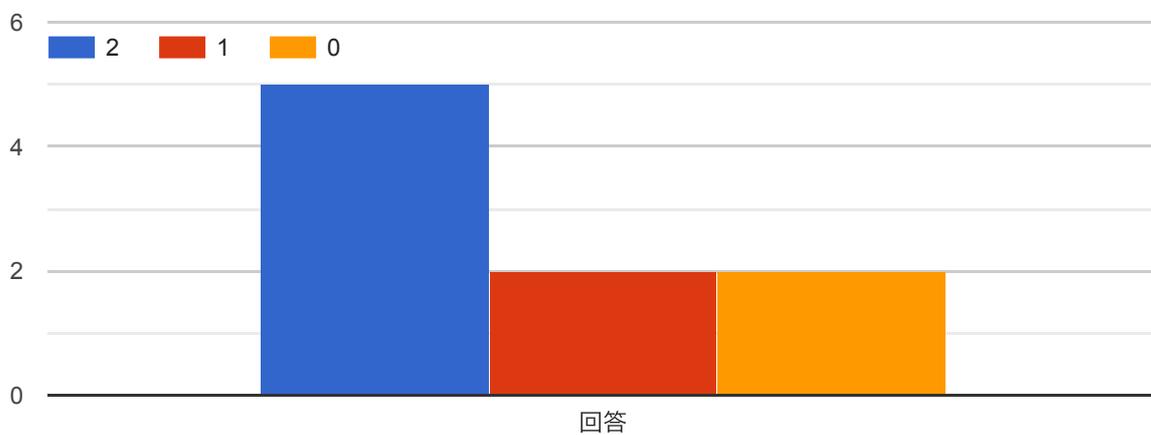
家庭環境や生活リズム、また身体的成長の差等から生じる子ども一人ひとりの違いを把握し、尊重している。



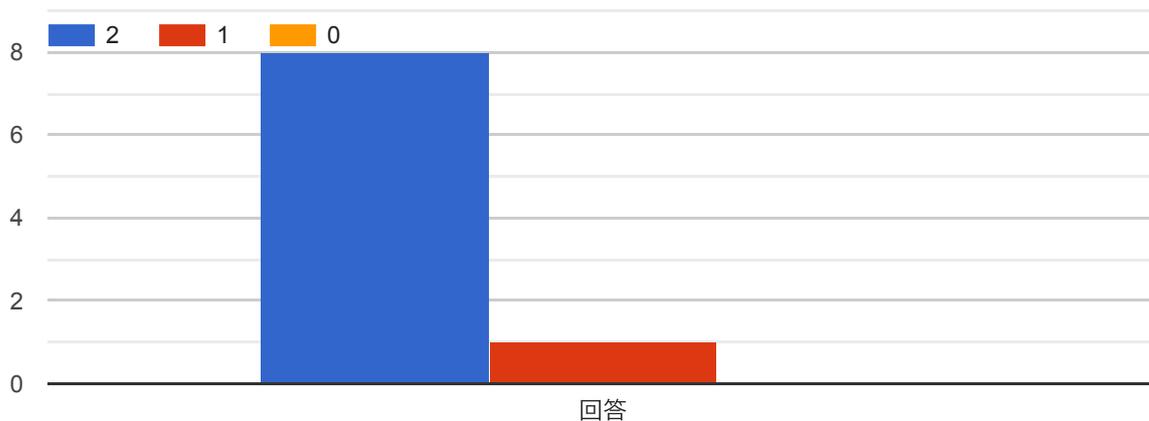
子どもに分かりやすい穏やかな言葉づかいで、おだやかに話している。



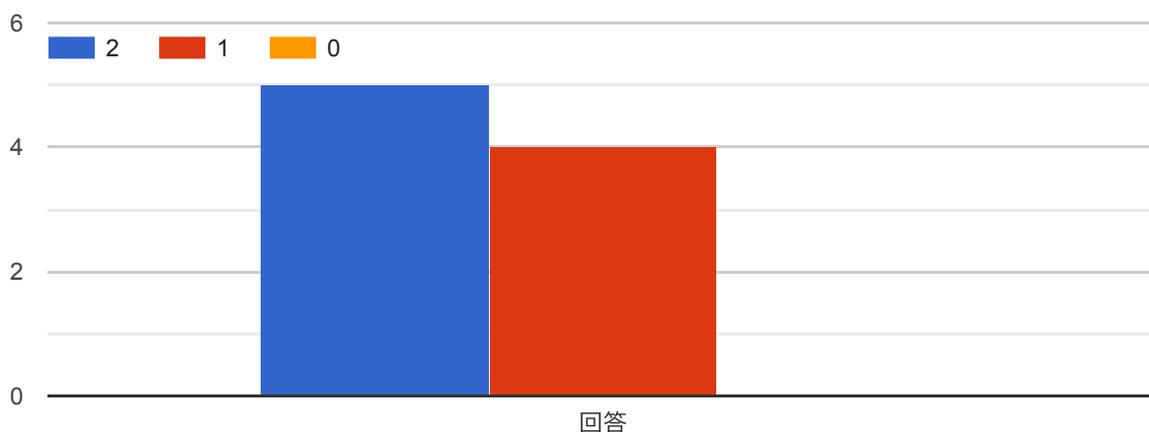
「早くしなさい」とせかす言葉や「ダメ」「いけません」など制止する言葉を不必要に用いないようにしている。



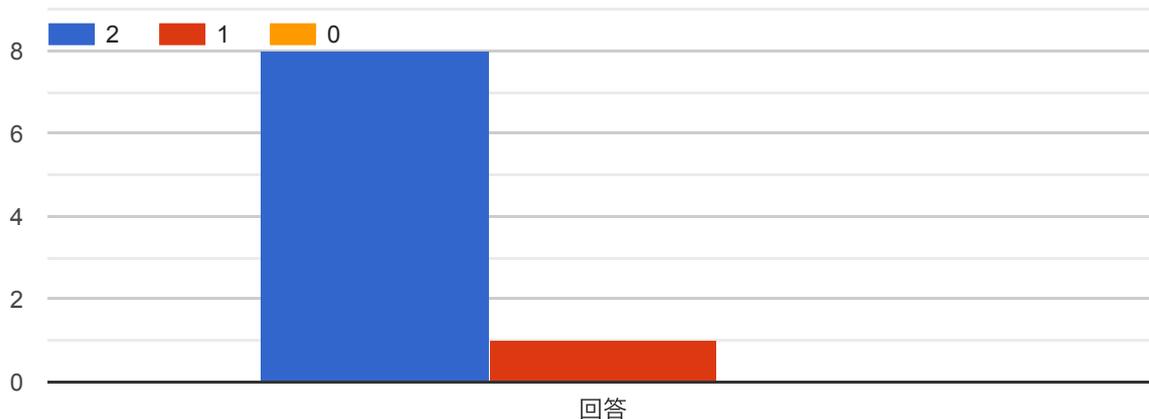
子どもの欲求や要求に対して、そのつど気持ちを受け止めて対応している。



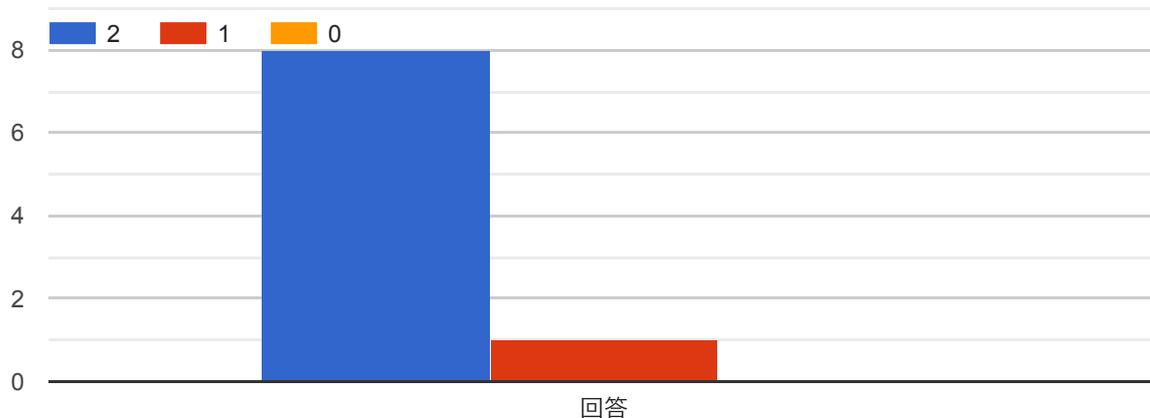
子どもの質問に対して、「待ってて」「あとで」などと言わずに、なるべくその場で対応している。



「いや」などと駄々をこねたり、自分を表現する力が十分でない子どもの気持ちをくみとろうとしている。

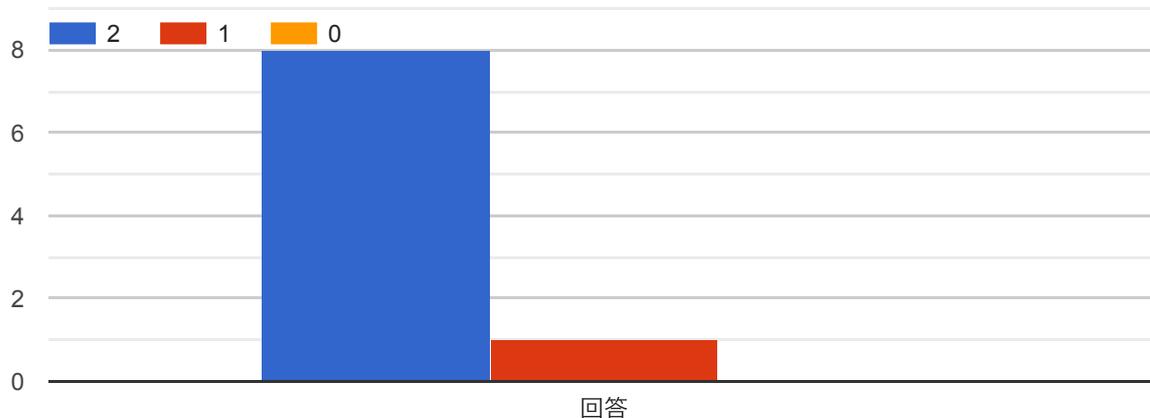


登所時に泣く子どもに対して、放っておいたり、叱ったりするのではなく、子どもの状況に応じて、抱いたり、やさしく声をかけたりしている。



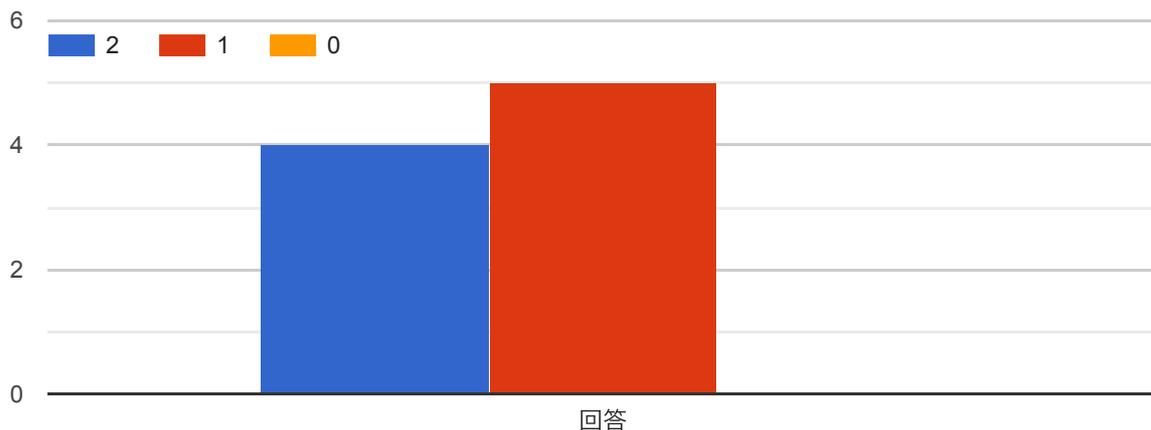
**A-2-(1)-②**

子ども同士の関わりに配慮し、共に成長できるようにしている。



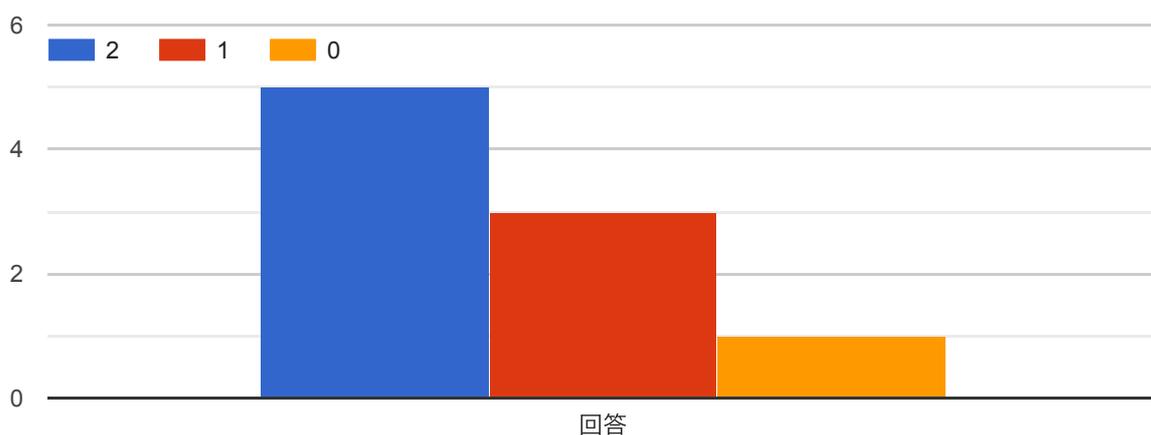
障害の内容等に応じて建物、設備等の環境への配慮がみられる。

 コピー



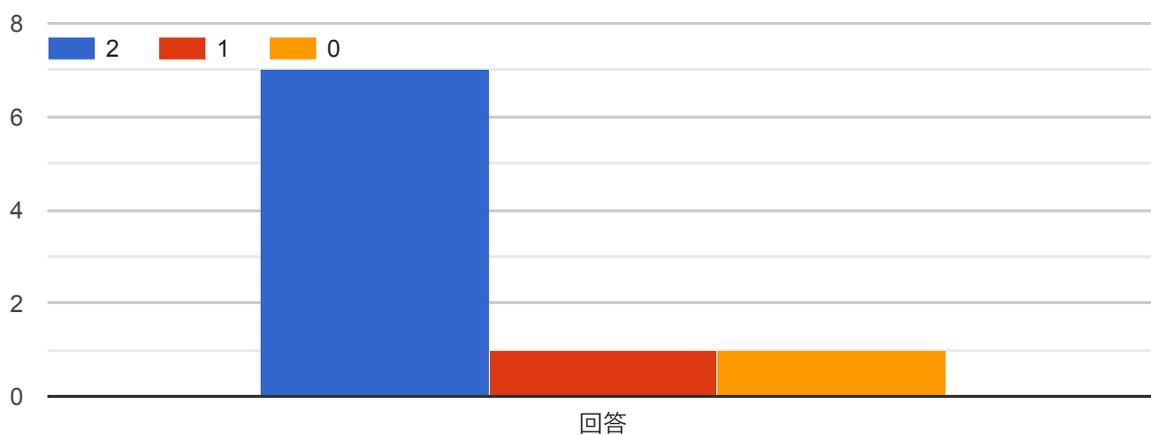
障害の子どもたちの生活の質を高められるよう、その子どもたちの特性を活かすように遊びや全体の保育の計画が作成されている。

 コピー



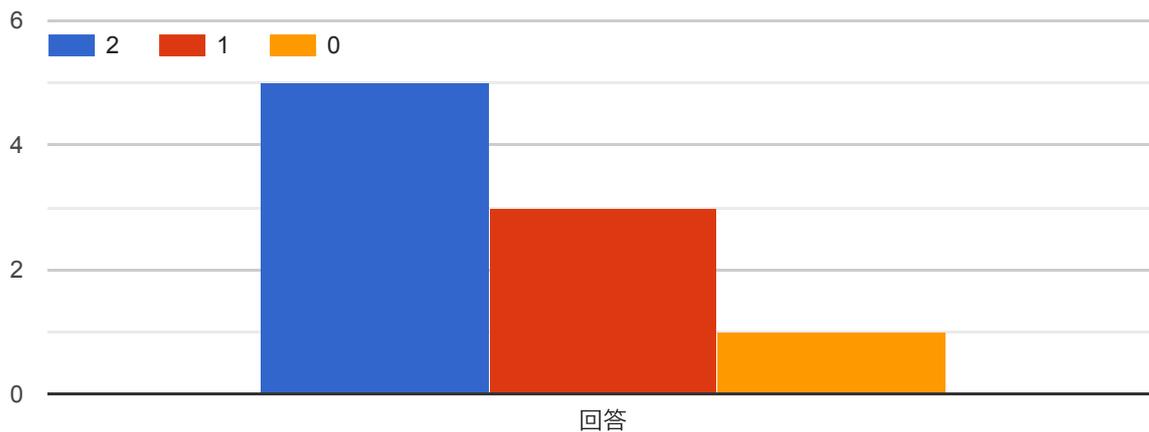
障害のある子どもたちの特性に配慮した個別の計画が立てられている。

 コピー



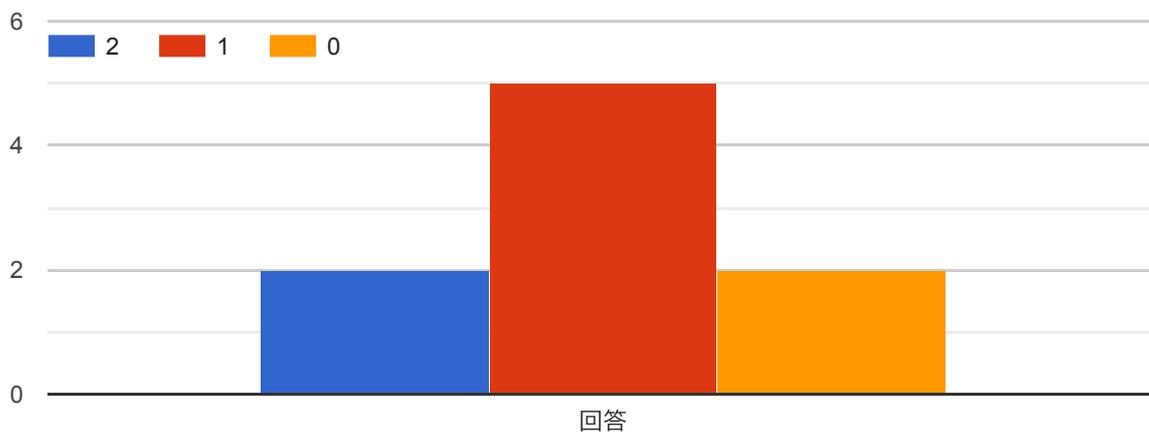
保護者との連携を密にし、相互理解を図っている。

 コピー



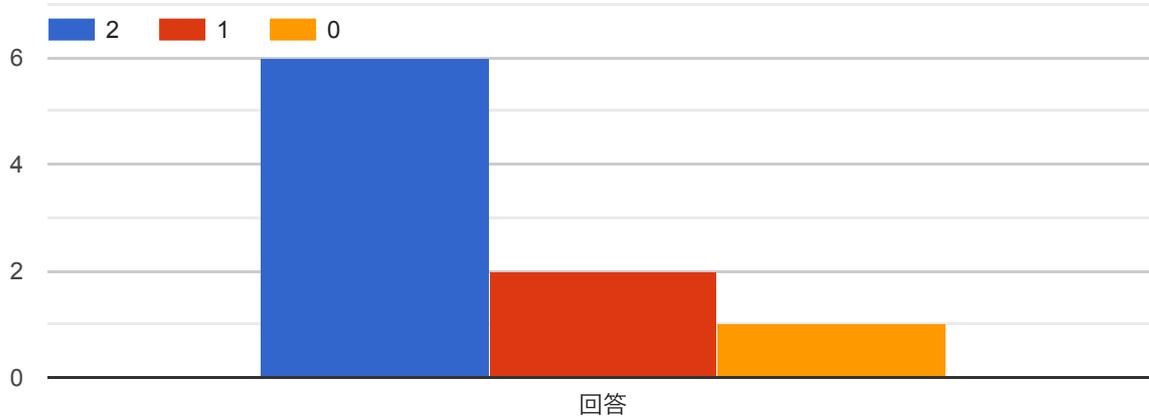
障害児保育について保育所全体で定期的に話し合う機会を設けている。

 コピー



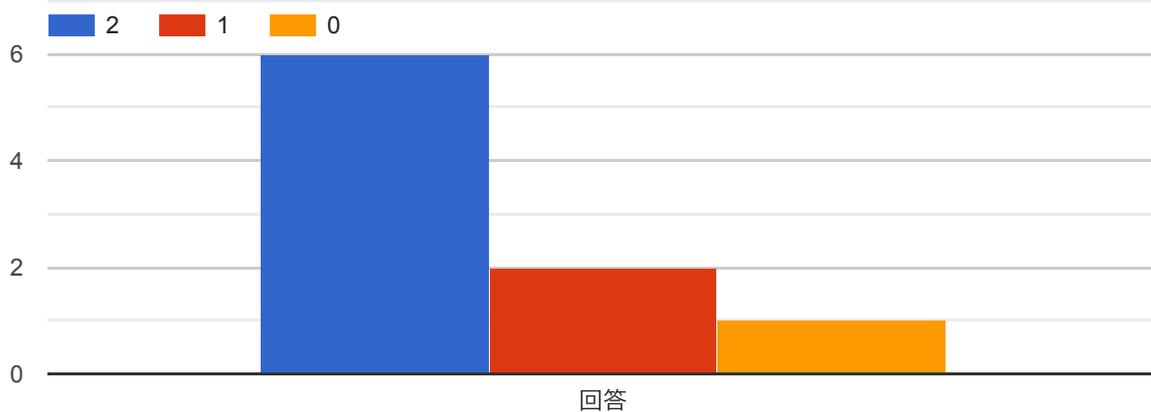
障害児保育に携わる者は、障害児保育に関する研修を受けている。

 コピー



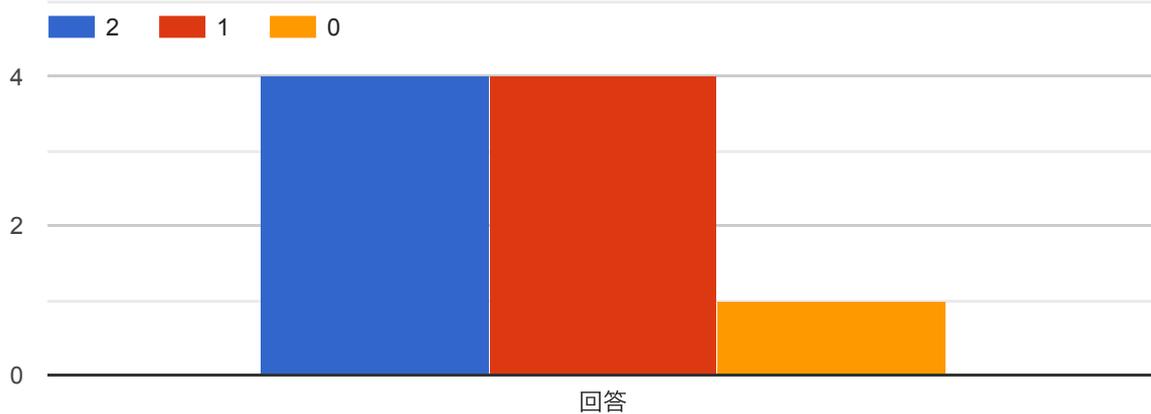
必要に応じて、医療機関や専門機関から相談や助言を受けている。

 コピー



保護者に障害児保育に関する適切な情報を伝えるための取組を行っている。

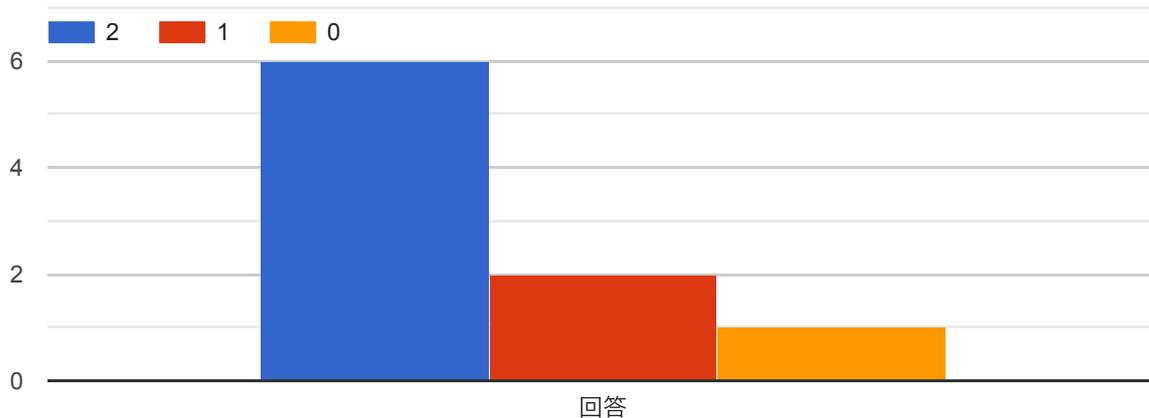
 コピー



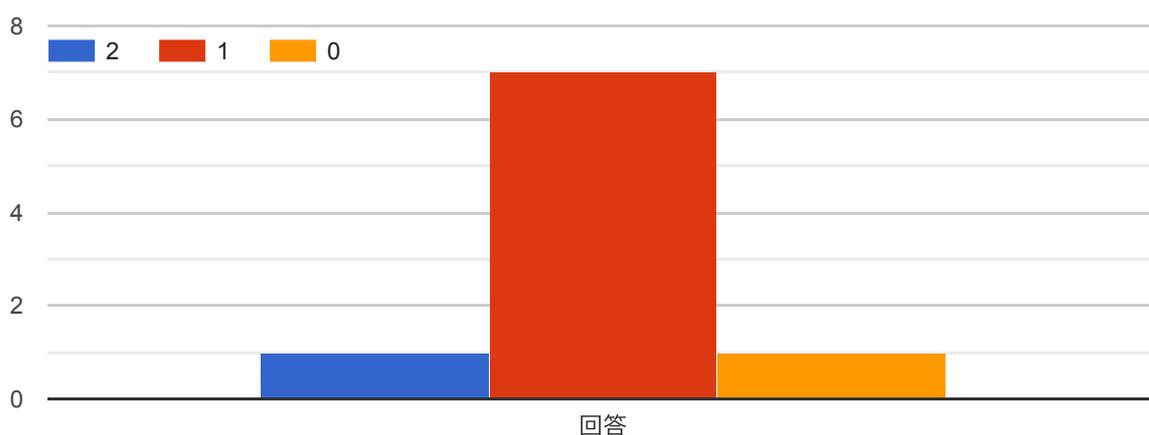
**A-2-(1)-③**



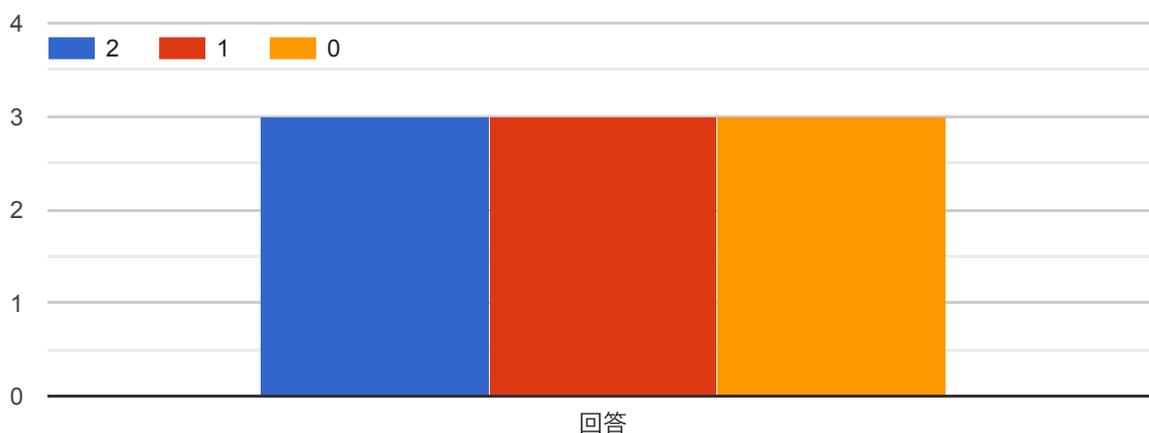
1日の生活を見通して、その連続性に配慮し、計画性をもった取組となっている。



畳やじゅうたん、ソファなど寝転ぶことができる環境、おもいおもいに遊ぶことができる遊具などがあり、家庭的な雰囲気が感じられる。

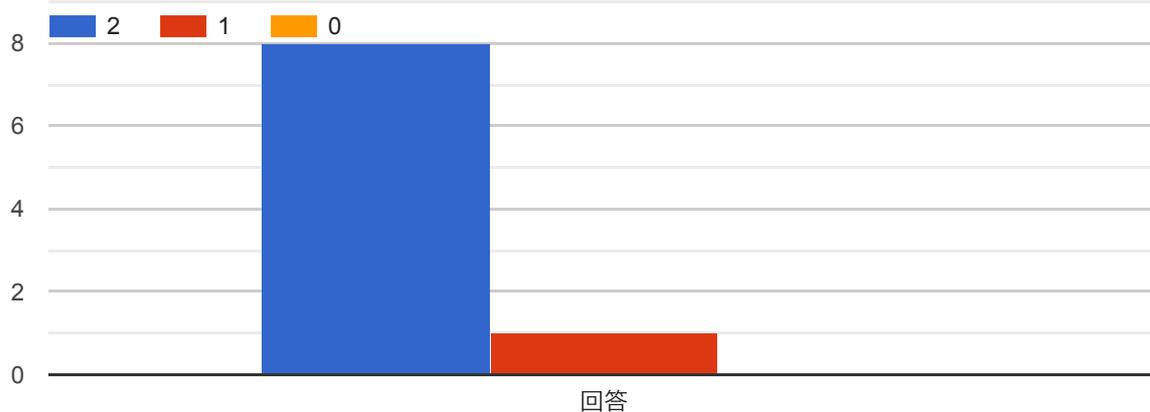


長時間保育を受ける子どもに夕食や軽食が提供され、献立表にその日の夕食や軽食の内容が明記されている。



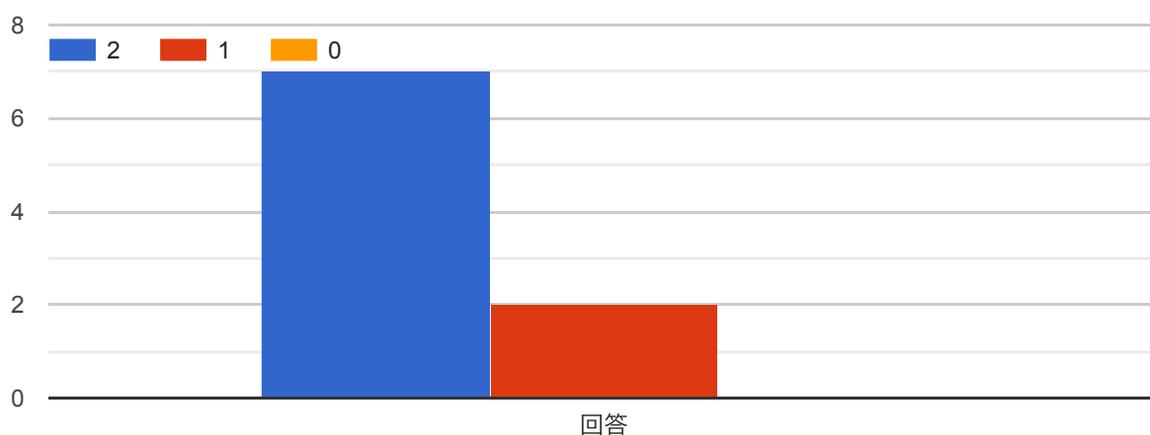
一人ひとりの子どもの要求に応じて、抱いたり、声をかけるなど、ゆったりと接している。

 コピー



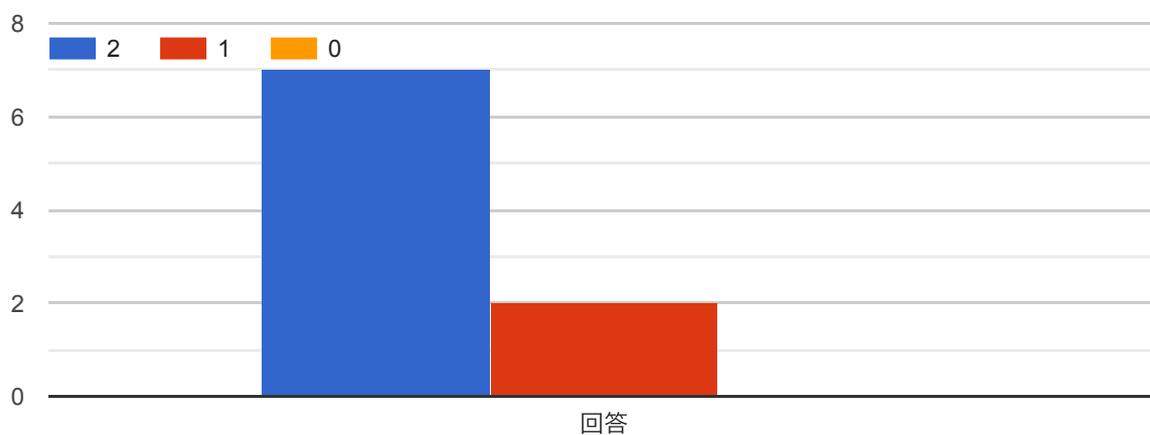
異年齢の子ども同士で遊べるように配慮されている。

 コピー



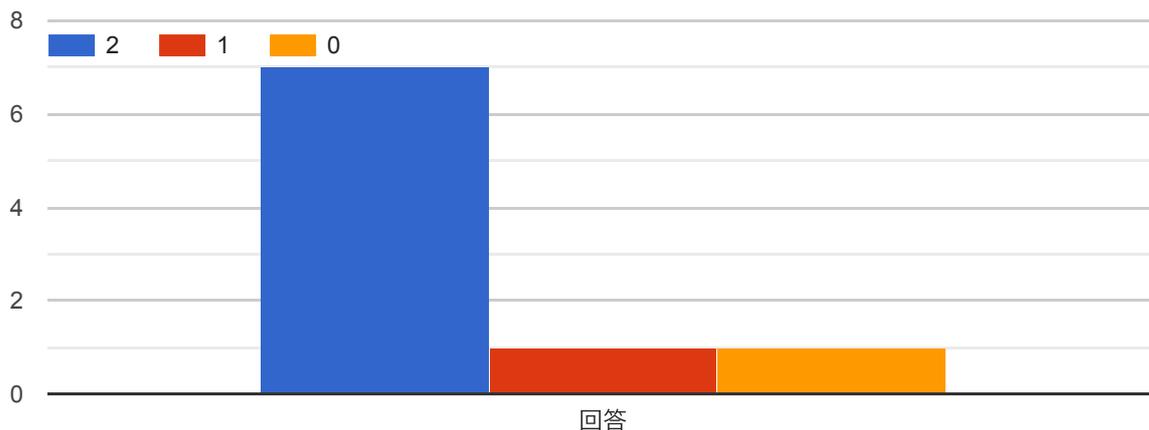
子どもの状況について、職員間の引継ぎを適切に行なっている。

 コピー



保護者との連携を密にして、子どもの生活リズムに配慮している。

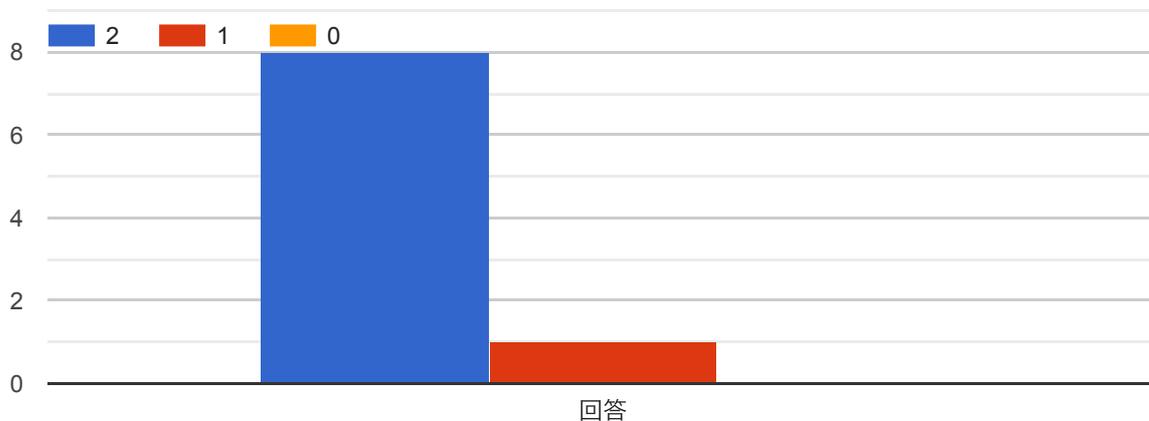
 コピー



旧 A-1-(4)-⑦

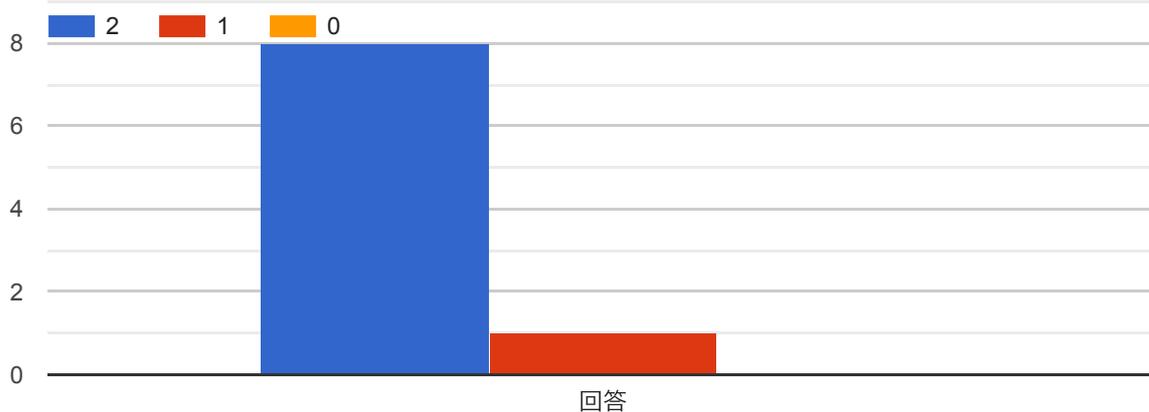
子どもが、自分の意見を保育者などの大人にはっきり言うことができるよう配慮している。

 コピー



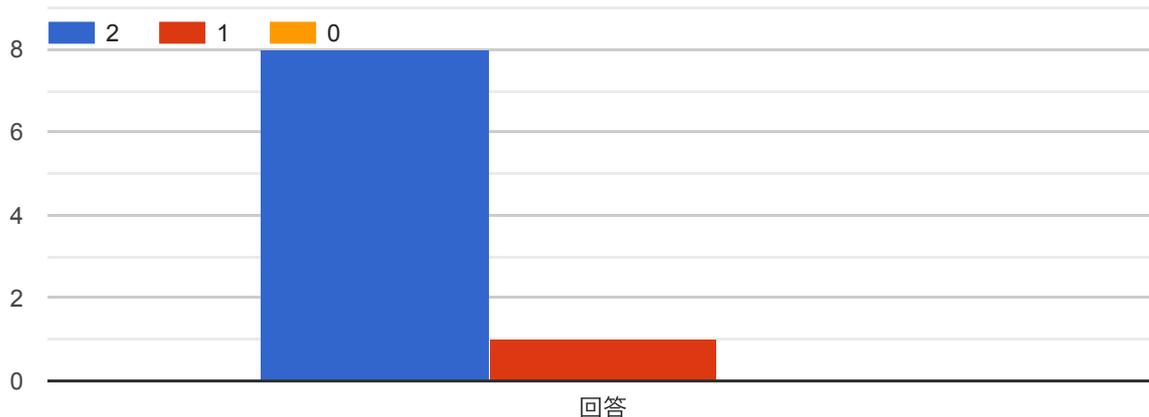
子どもが、他の子どもの気持ちや発言を受け入れられるよう配慮している。

 コピー



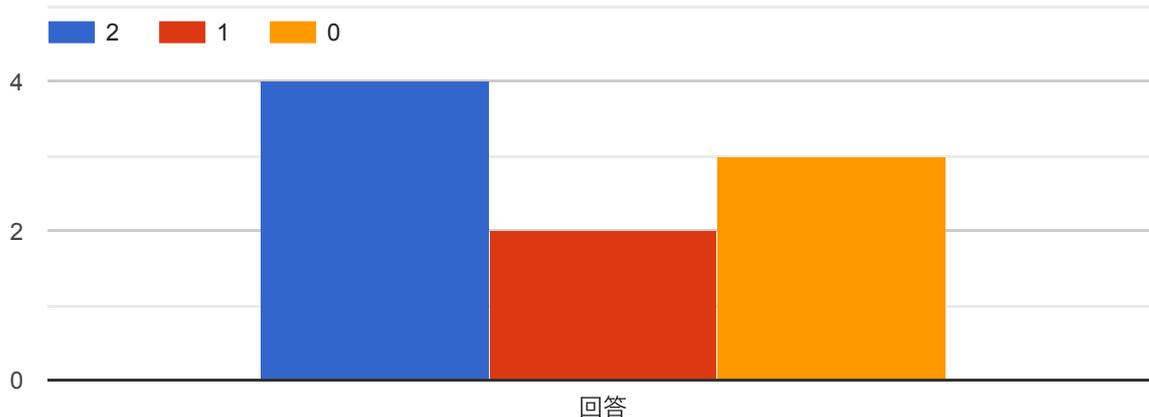
一人ひとりの子供の生活習慣や文化、考え方などの違いを知り、それを尊重する心を育てるよう努めている。

 コピー

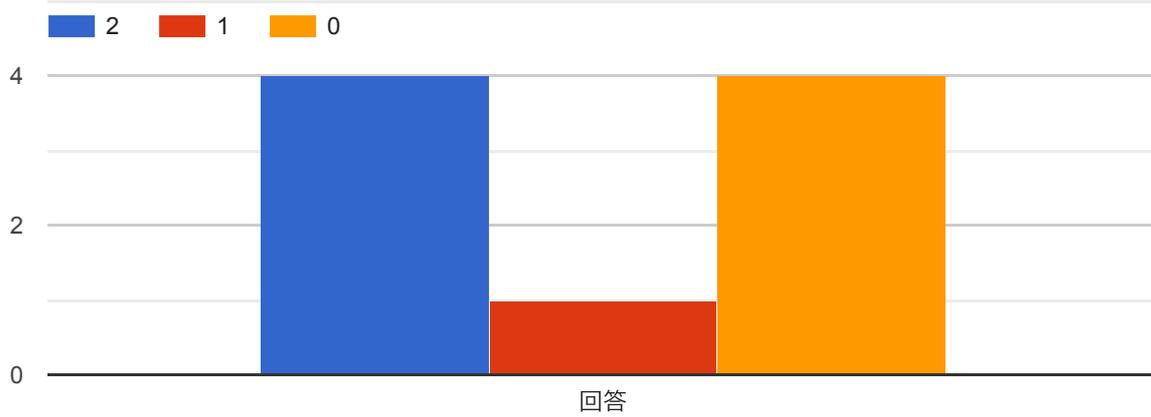


子どもの人権への配慮や互いを尊重する心を育てるための具体的な取り組みを行っている。

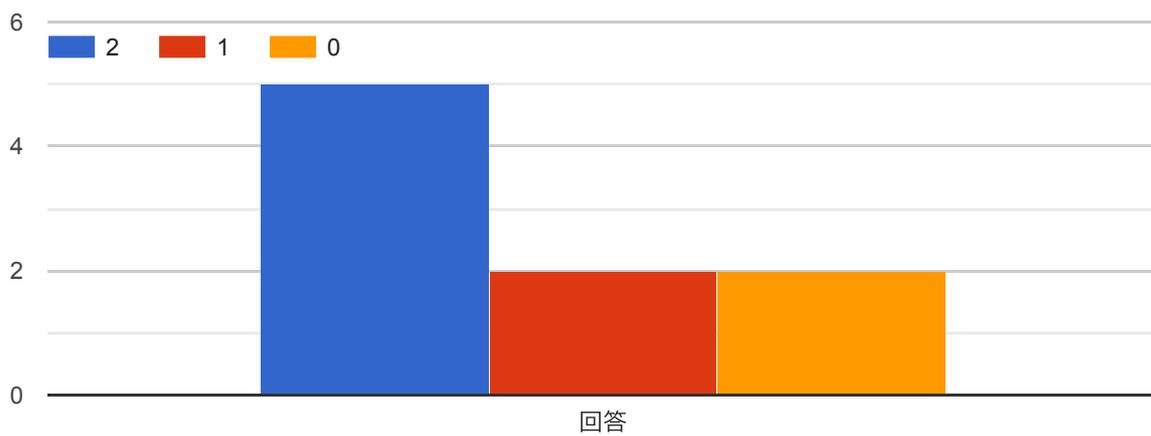
 コピー



子どもの人権や文化の違い、互いに尊重する心について、保護者にも理解してもらうような取り組みを行っている。



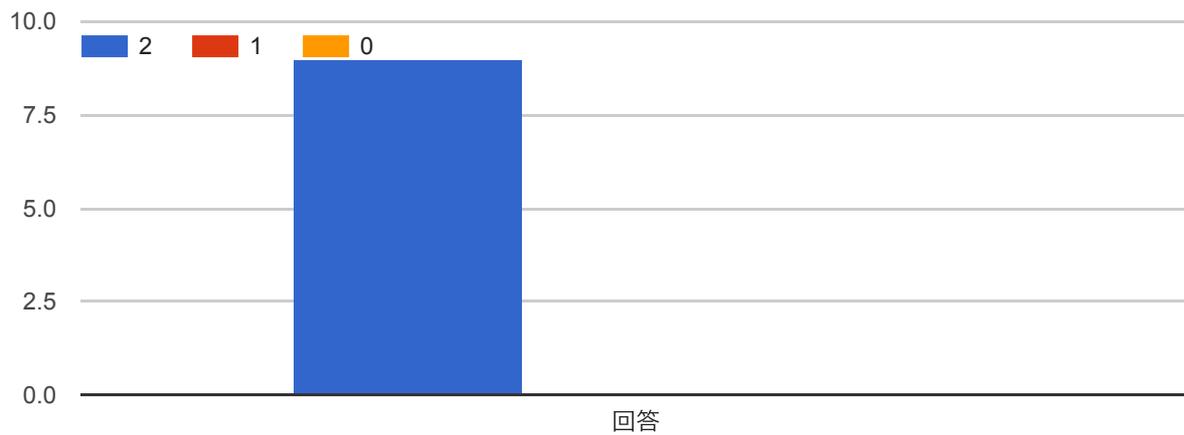
子どもの権利擁護に関する研修等に職員が参加している。



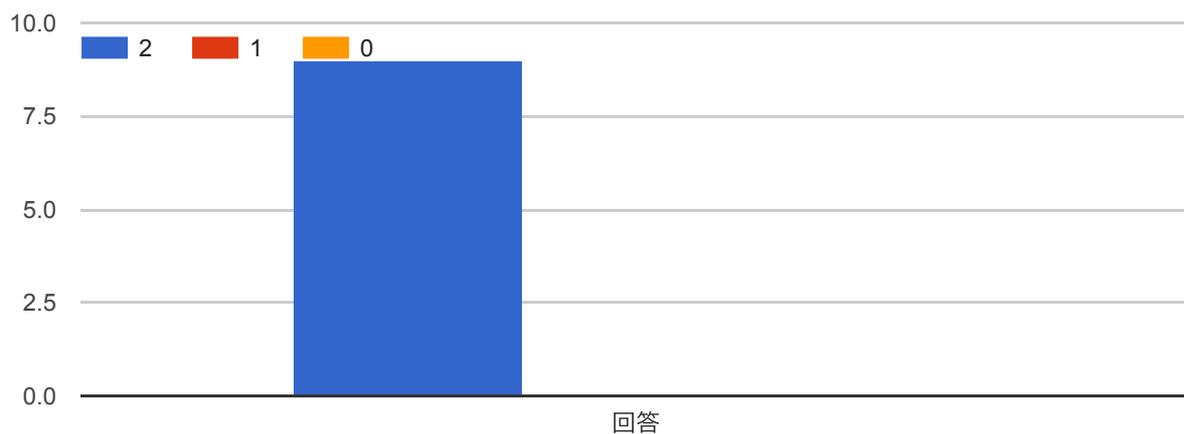
旧 A-1-(4)-⑧



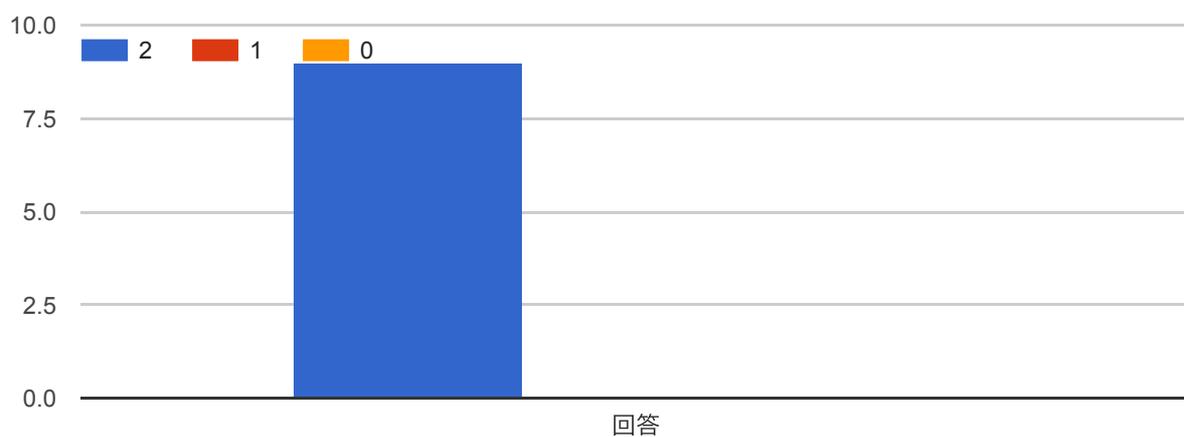
「男の子だからめそめそするな」などと、子どもの態度について、性差への先入観による固定的な対応をしていない。



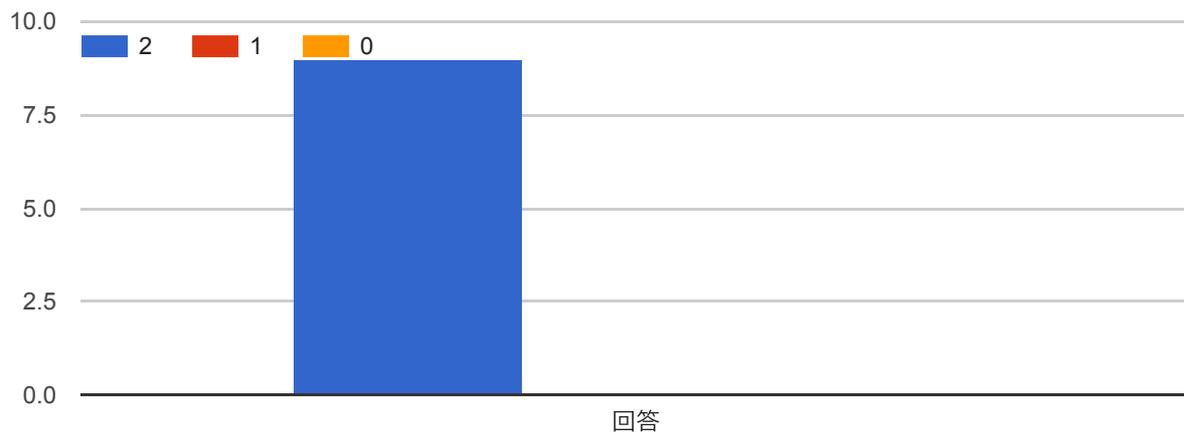
「それは女の子の色」などと、子どもの服装について、性差への先入観による固定的な対応をしていない。



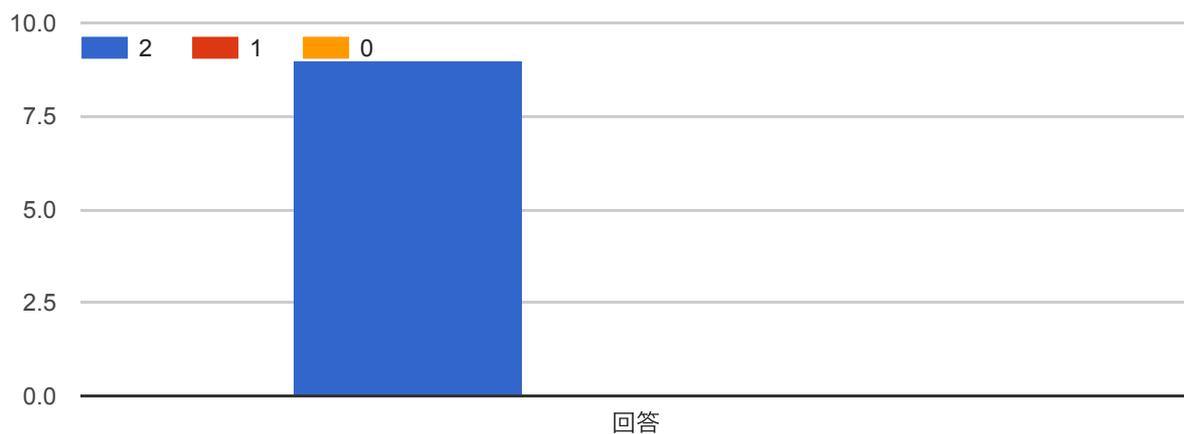
「それは女の子の遊び」などと、子どもの遊び方について、性差への先入観による固定的な対応をしていない。



「男の子だから家事をすることはない」などと、育児、家事、介護などについて、性差への先入観による固定的な対応をしていない。



「それは男（女）の子の仕事」などと、職業について、性差への先入観による固定的な対応をしていない。



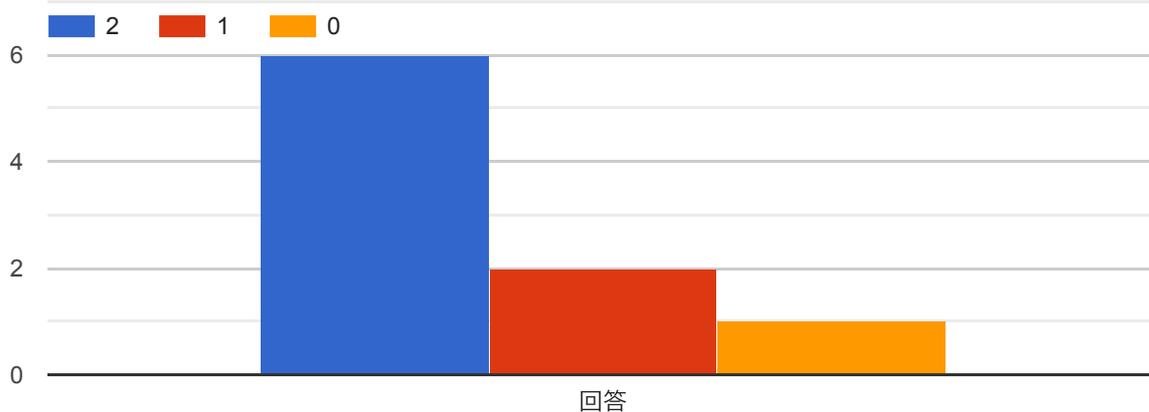
## A-2 子どもの生活と発達 セクション2

### A-2-(2) 子どもの福祉を増進することに最もふさわしい生活の場

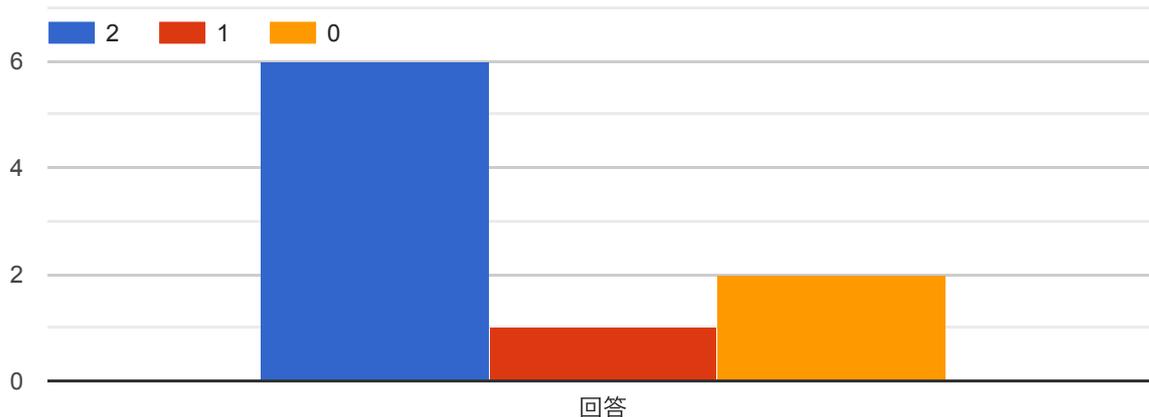
#### A-2-(2)-①



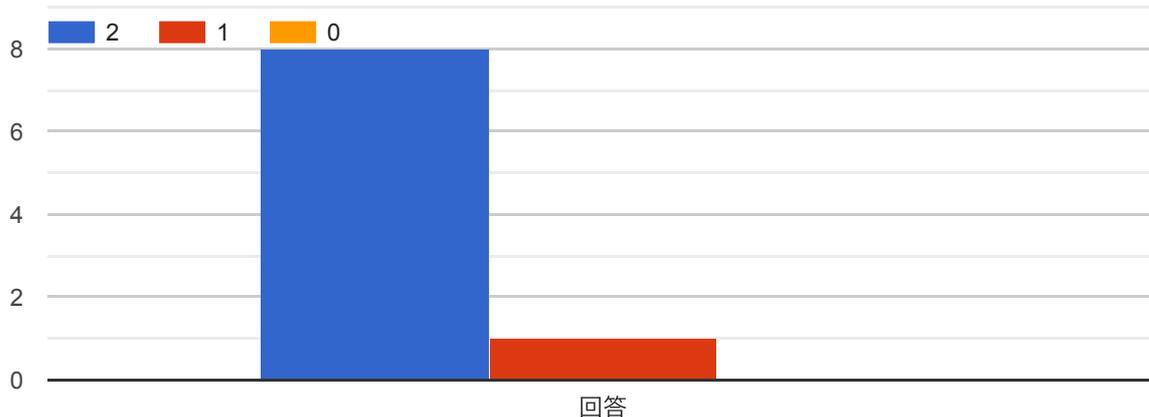
既往症や予防接種の状況について常に保護者から情報を得られうように努めている。



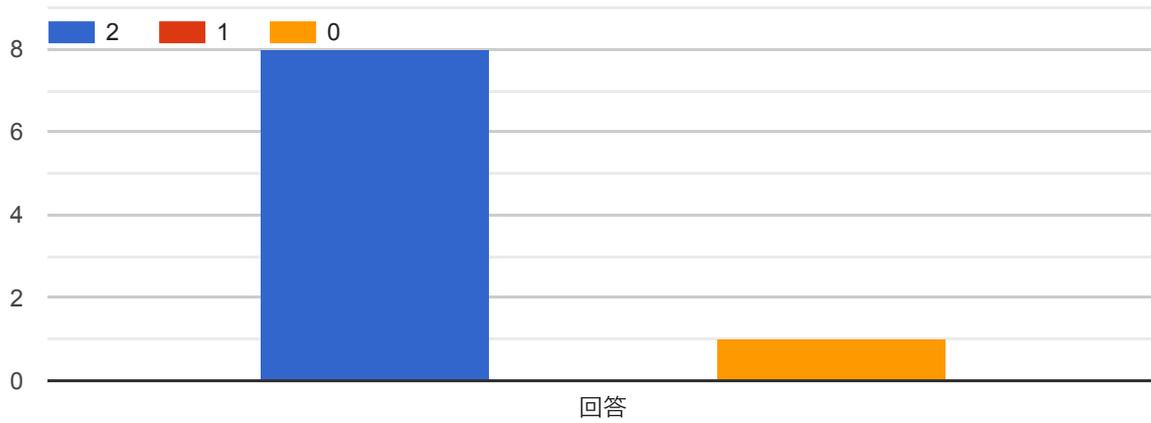
子ども一人ひとりの健康状態に関する情報が関係職員に周知されている。



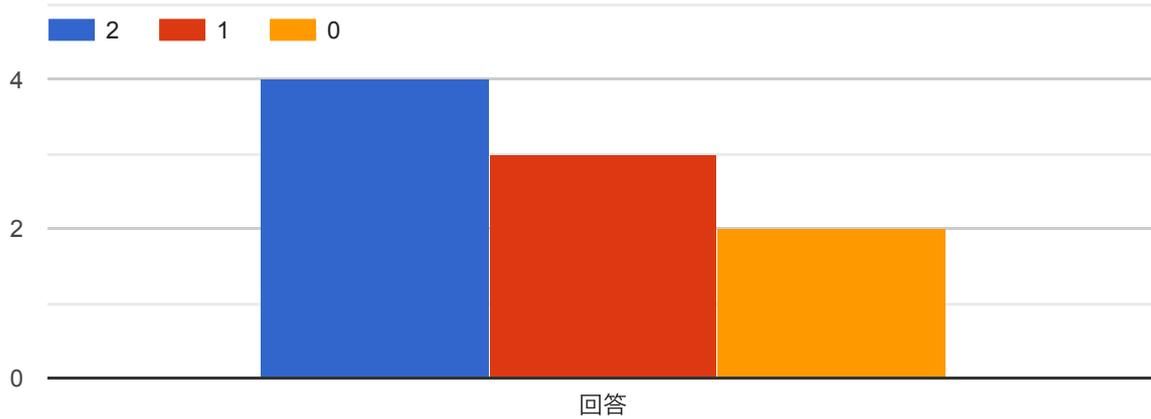
体調のすぐれない子どもについては、保護者と確認し食事の内容やその日の過ごし方について柔軟に対応している。



子どもの体調悪化・けがなどについてはとくに留意して保護者に伝え、事後の確認をしている。



健康管理に関するマニュアルや保健計画を作成している。

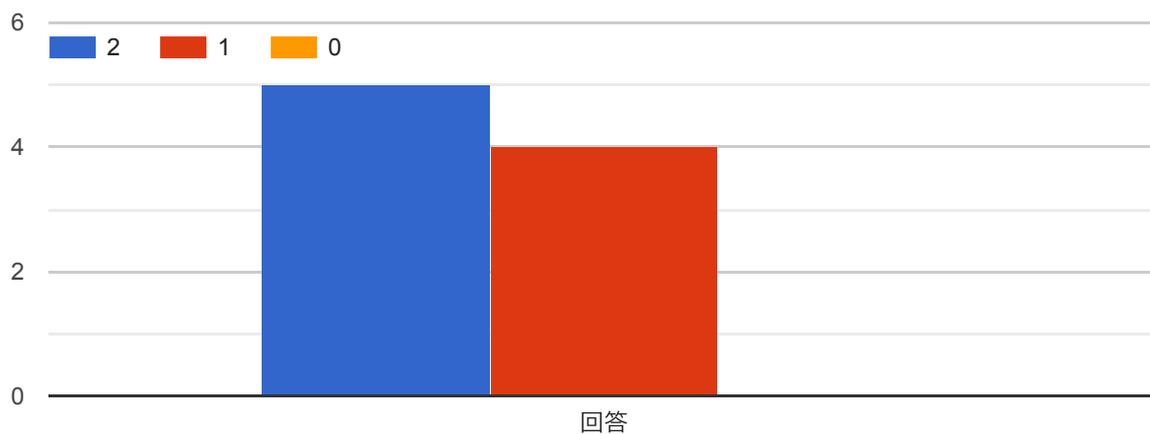


**A-2-(2)-②**



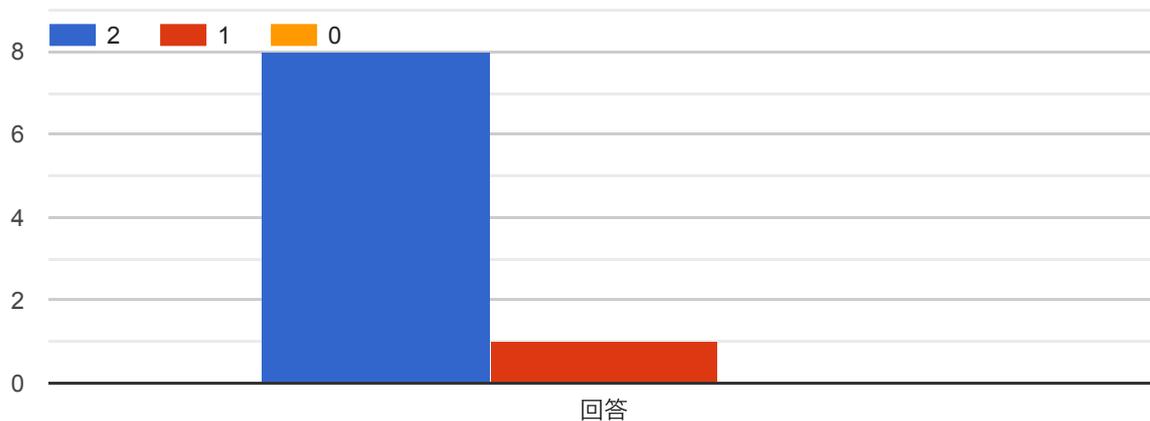
食事をする部屋としての雰囲気づくりに配慮している。

 コピー



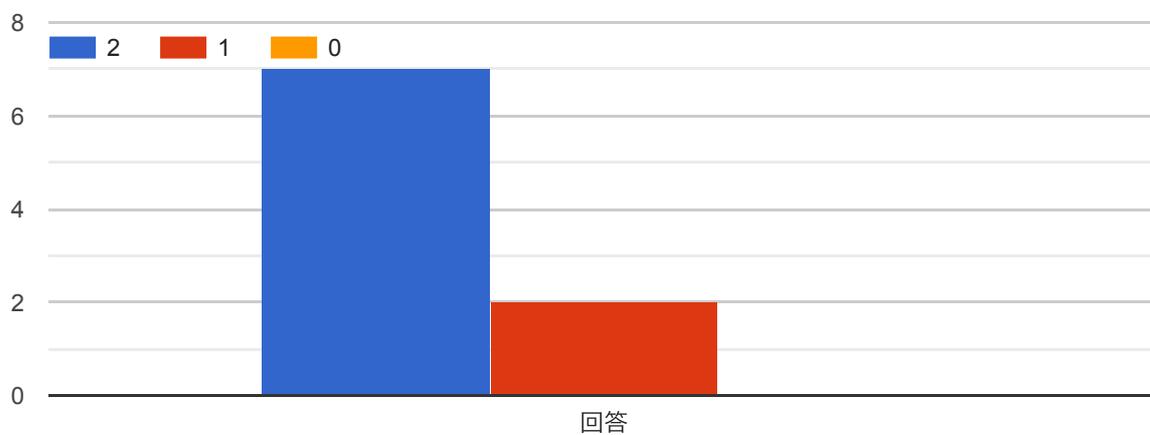
子どもが友だちや保育士等と一緒に食事を楽しんでいる。

 コピー



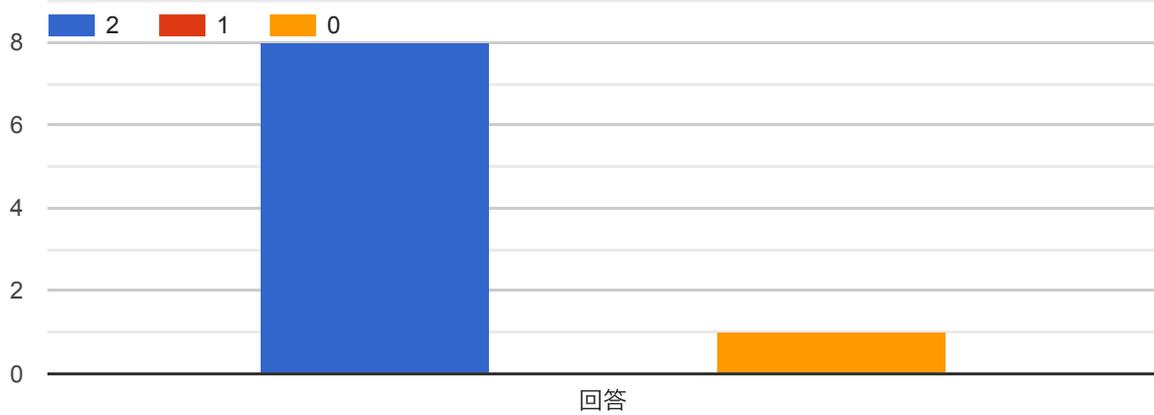
子どもが食べ物に関心を持つよう工夫している。

 コピー



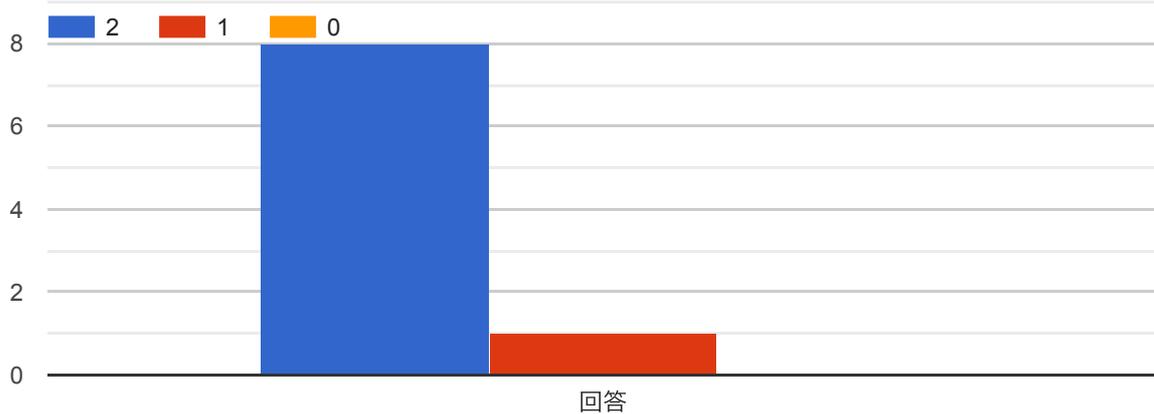
個人差や食欲に応じて、量を加減できるよう工夫している。

 コピー



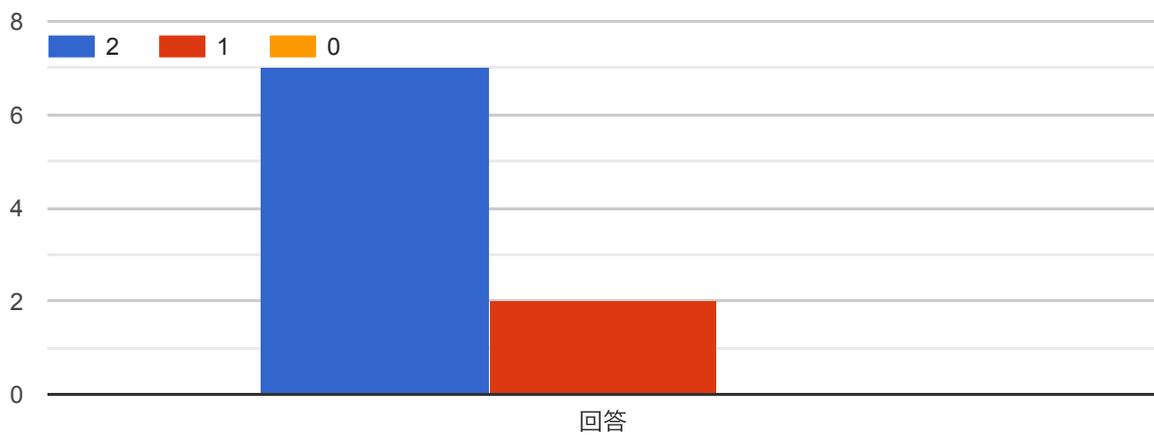
子どもの負担になるほどに、残さず食べることを強制したり、偏食を直そうと叱ったりしていない。

 コピー



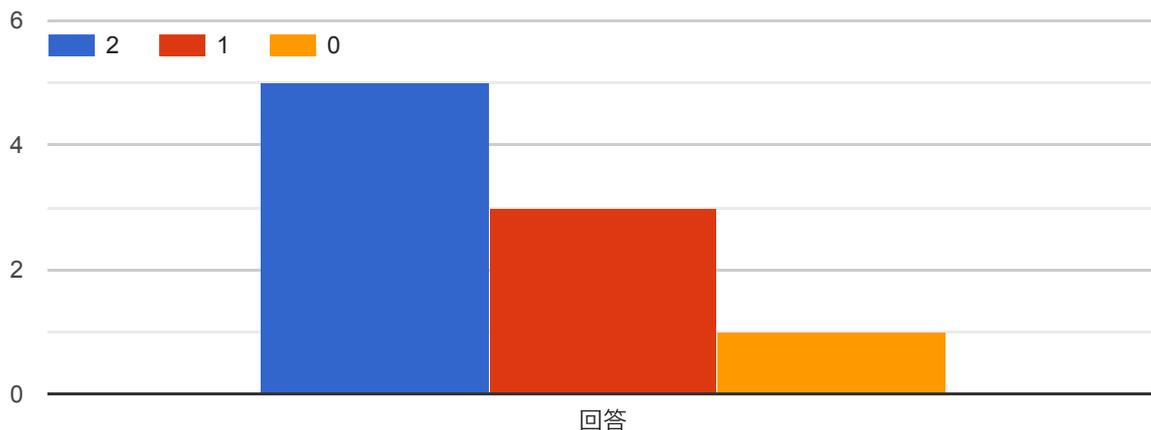
子どもが落ち着いて食事を楽しめるように工夫をしている。

 コピー



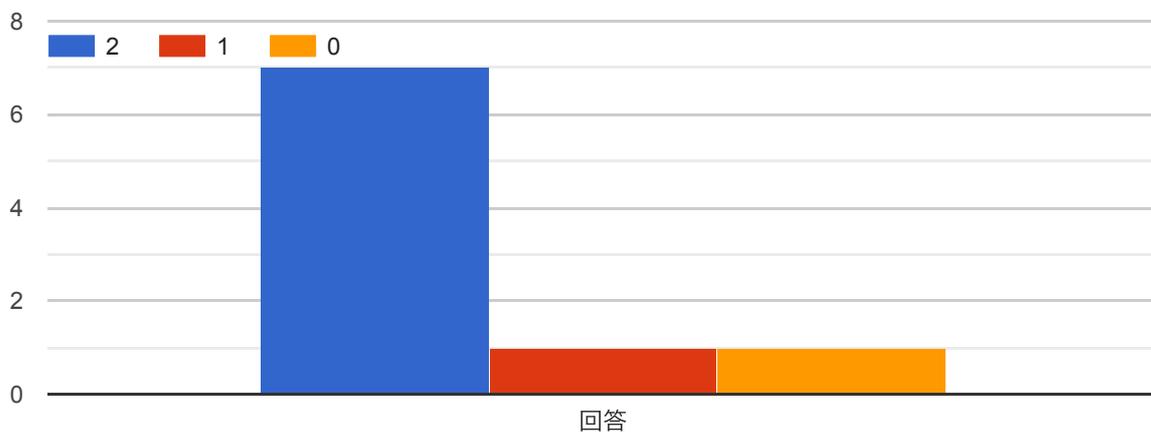
時には戸外で食べるなど、様々な食事のスタイルの工夫がある。

 コピー



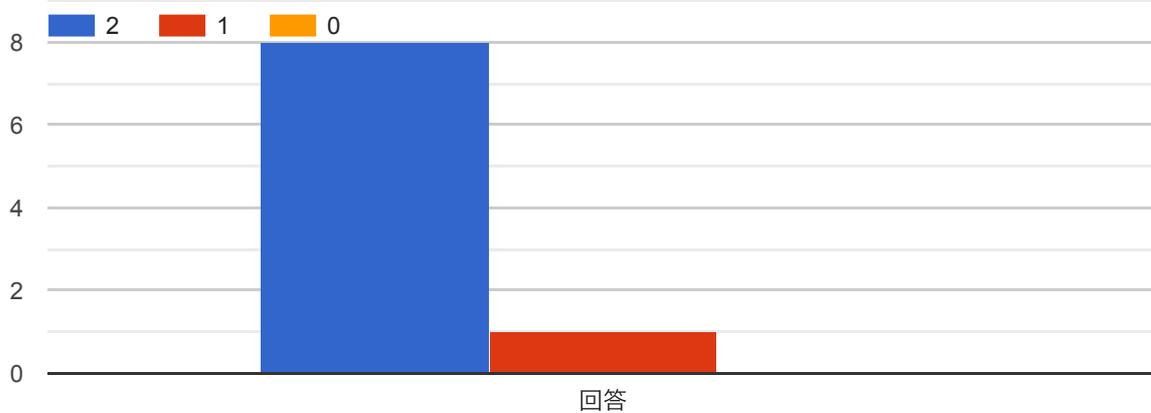
子どもが育てた野菜などを料理して食べることがある。

 コピー



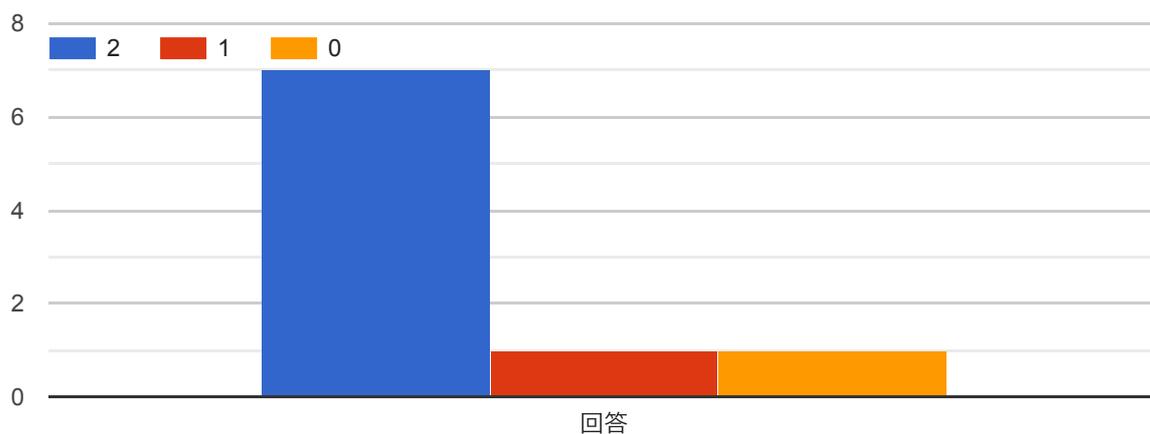
子どもが配膳や後片づけなどに参加できるように配慮している。

 コピー



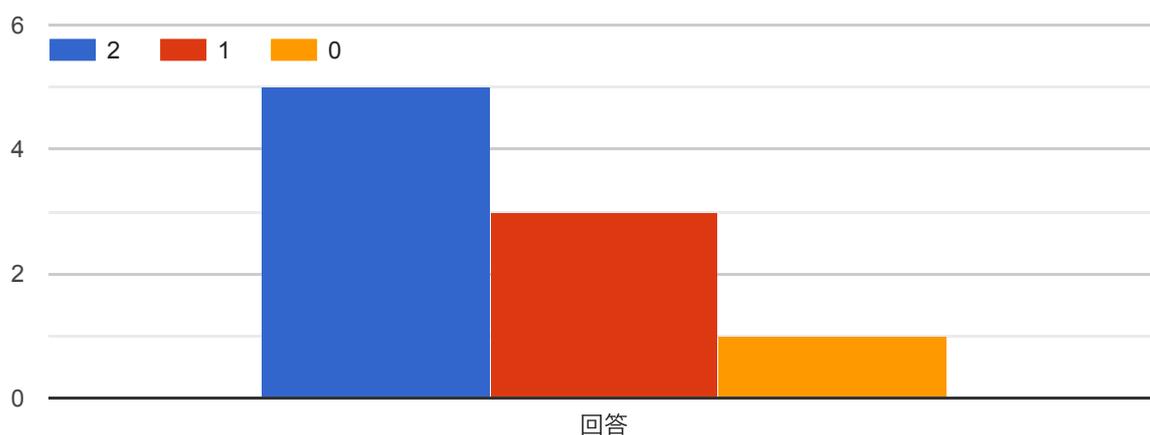
調理作業をしている場面を子どもたちが見たり、言葉を交わしたりできるような工夫を行っている。

 コピー



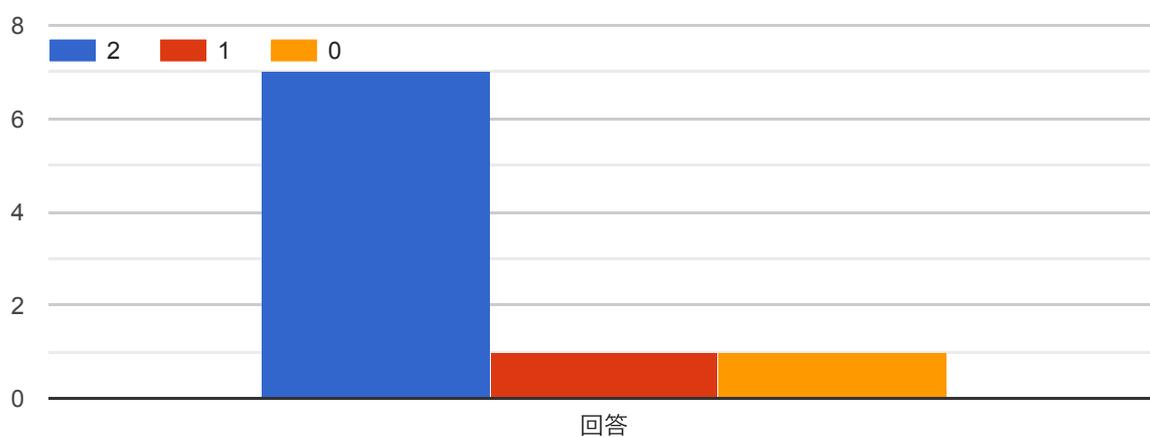
食に関する豊かな経験ができるよう、保育の計画に位置付けている。

 コピー



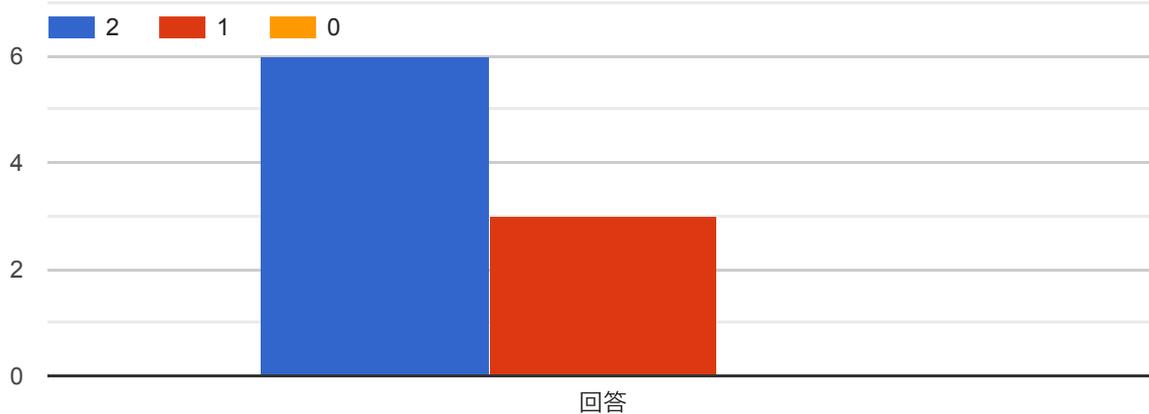
子どもの生活リズムに配慮して食事やおやつを提供している。

 コピー



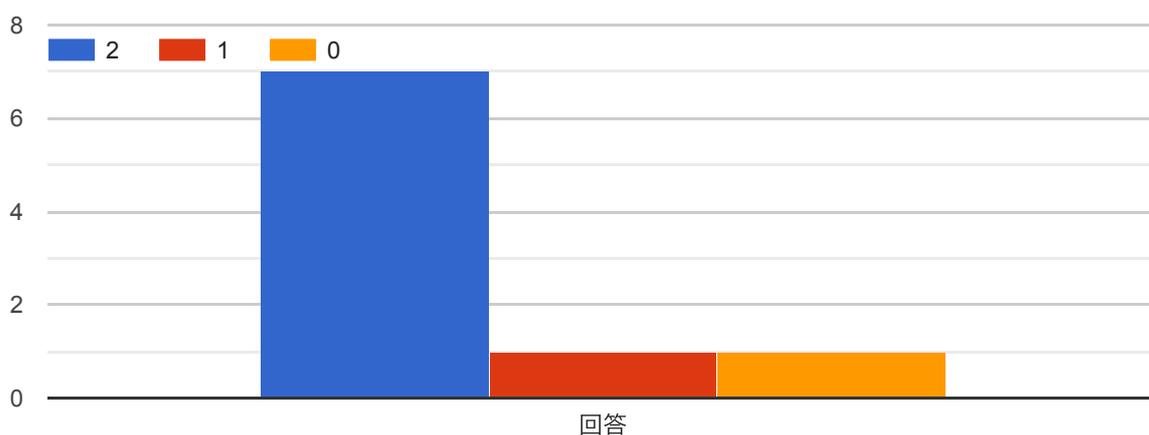
子どもの食べる量や好き嫌いなどを把握している。

 コピー



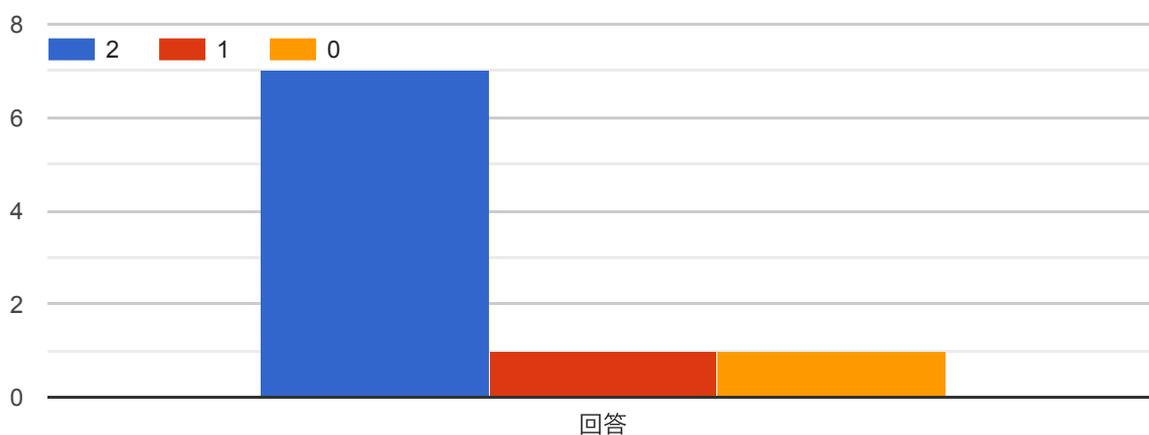
残食の調査記録や検食簿をまとめ、献立・調理の工夫に反映させている。

 コピー



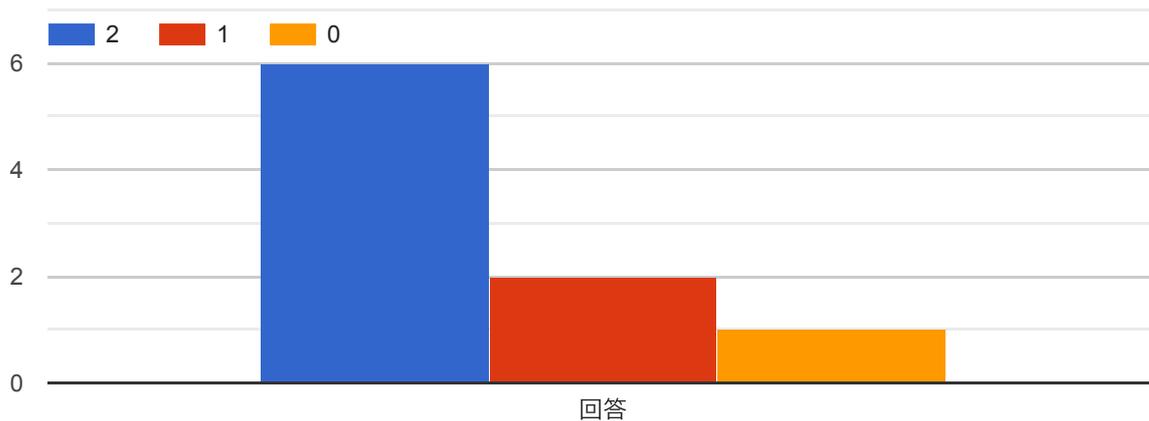
食事の献立については、旬の物や季節感のある食材を活かし、行事食なども随時取り入れている。

 コピー



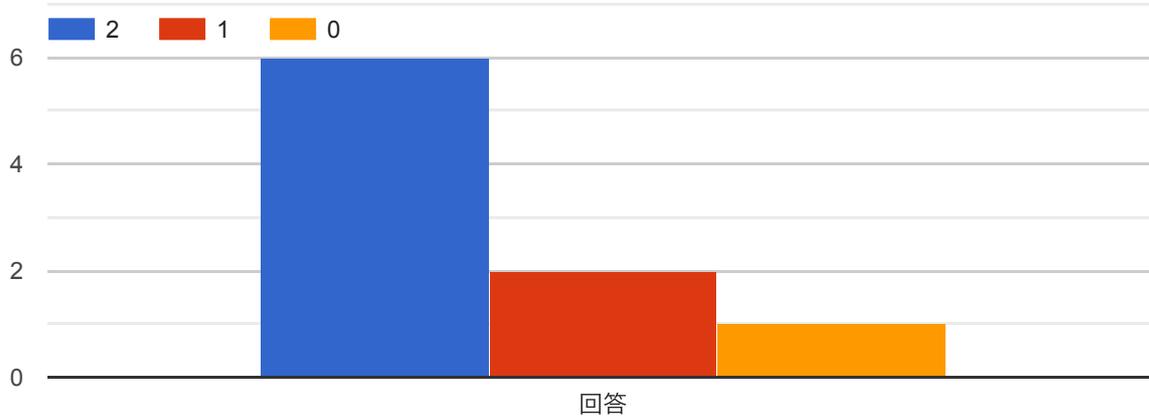
食器の材質や形などに配慮している。

 コピー



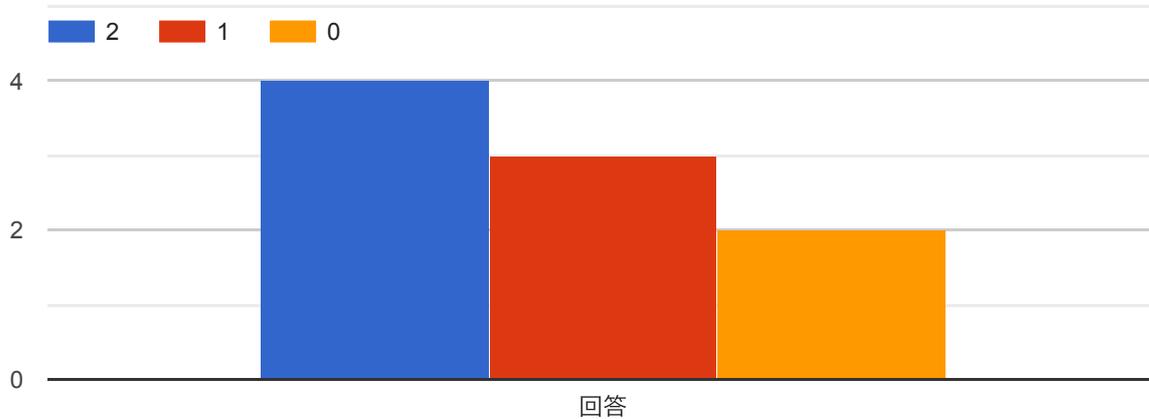
おやつは、できる限り手作りを心がけている。

 コピー

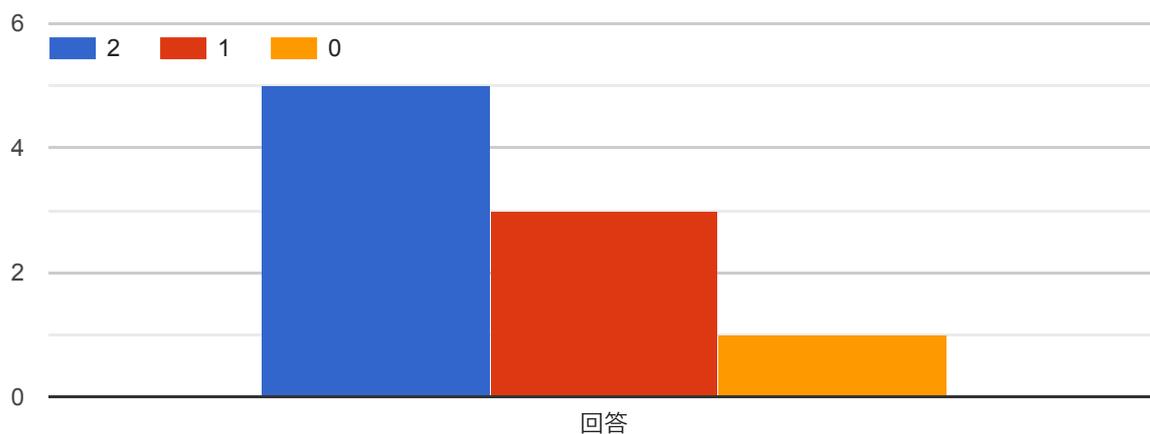


栄養士や調理員等が、食事の様子を見たり、子どもたちの話を聞いたりする機会を設けている。

 コピー

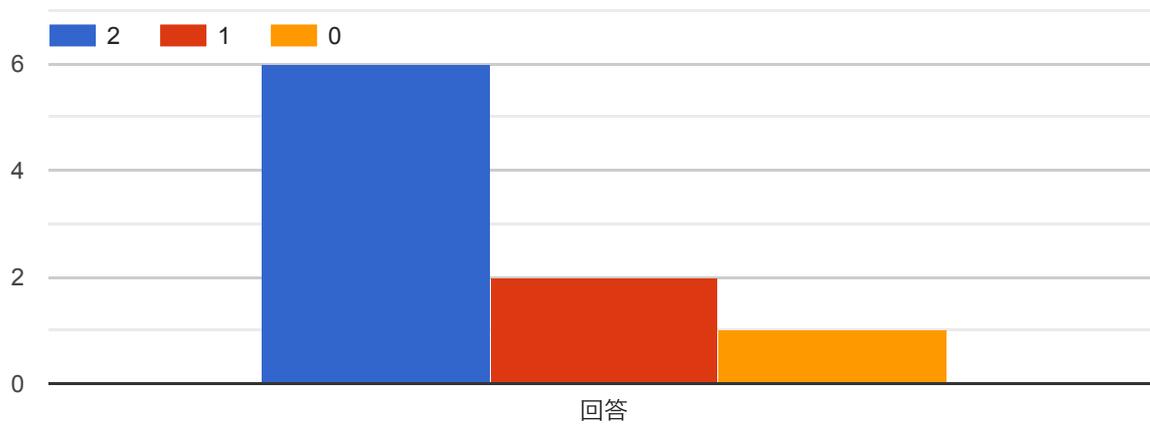


子ども一人ひとりの発育状況や体調を考慮した、調理の工夫がされている。

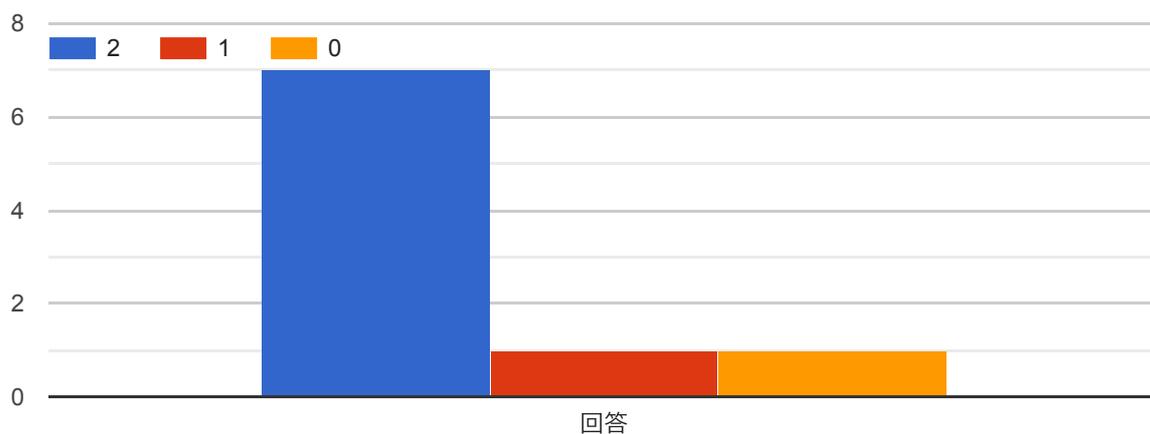


**A-2-(2)-④**

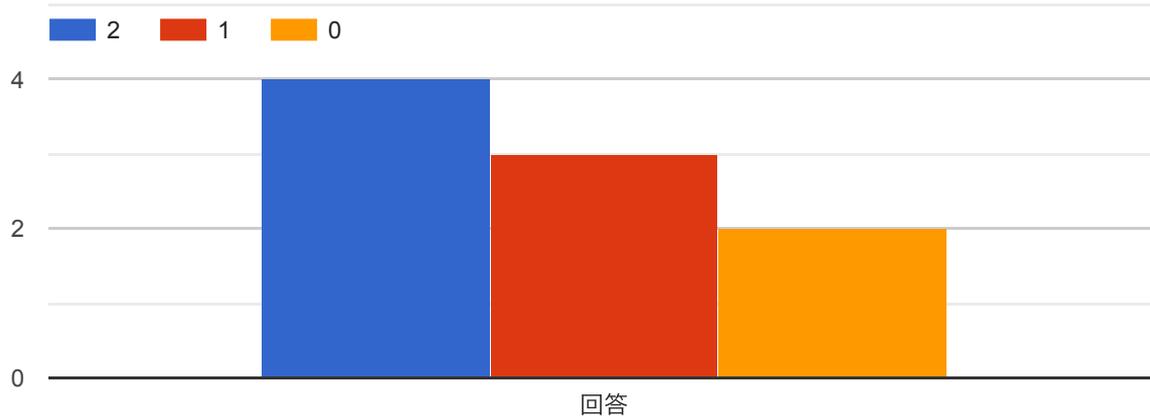
健康診断・歯科健診の結果が記録され、職員に周知されている。



家庭での保育に有効に反映されるよう、健康診断・歯科健診の結果を保護者に伝えている。



健康診断・歯科健診の結果を保健計画等に反映させ、保育が行われている。



## A-2 子どもの生活と発達 セクション3

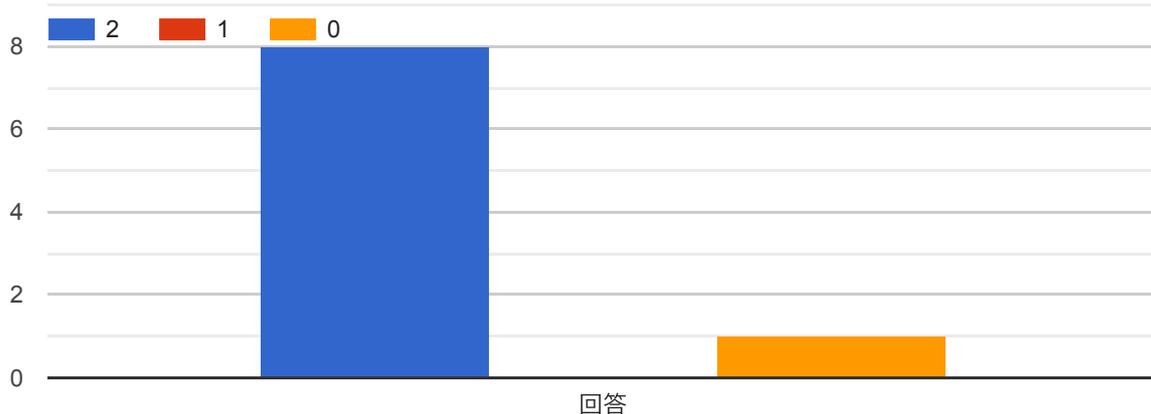
### A-2-(3) 健康及び安全の実施体制

#### A-2-(3)-①



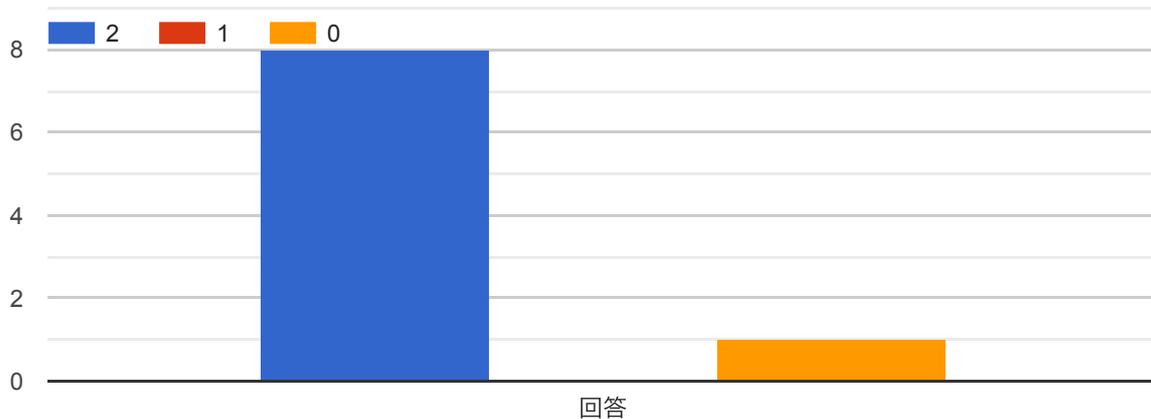
主治医等による細かい指示のもと、保育所での生活に配慮をしている。

 コピー



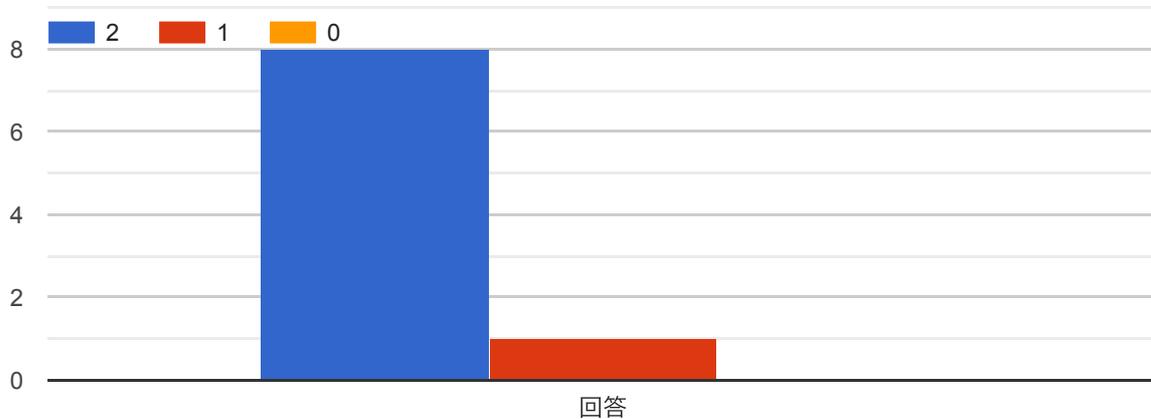
食事の献立や除去期間などに関する主治医等からの指示がある。

 コピー



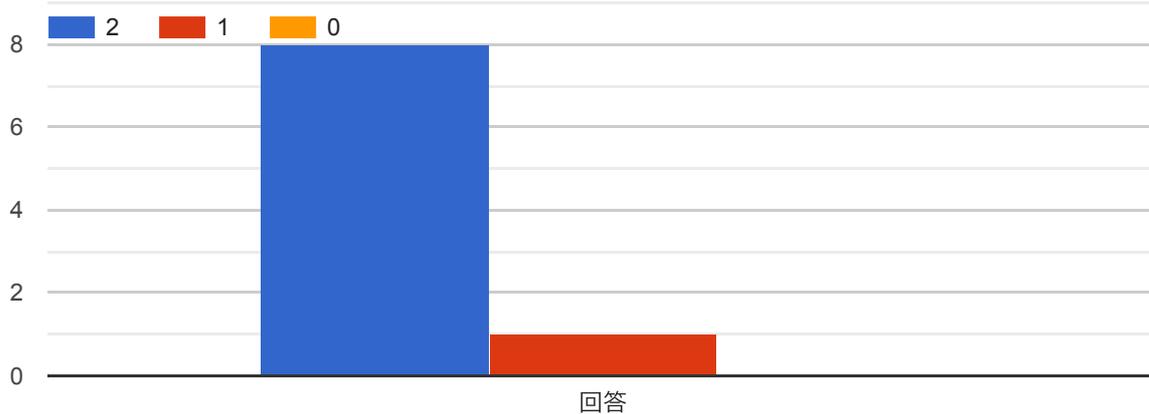
アトピー性皮膚炎、食物アレルギーの子どもに対して、主治医の指示のもと、子どもの状況に応じて適切な対応を行っている。

 コピー



食事の提供において、他の子どもたちとの相違に配慮している。

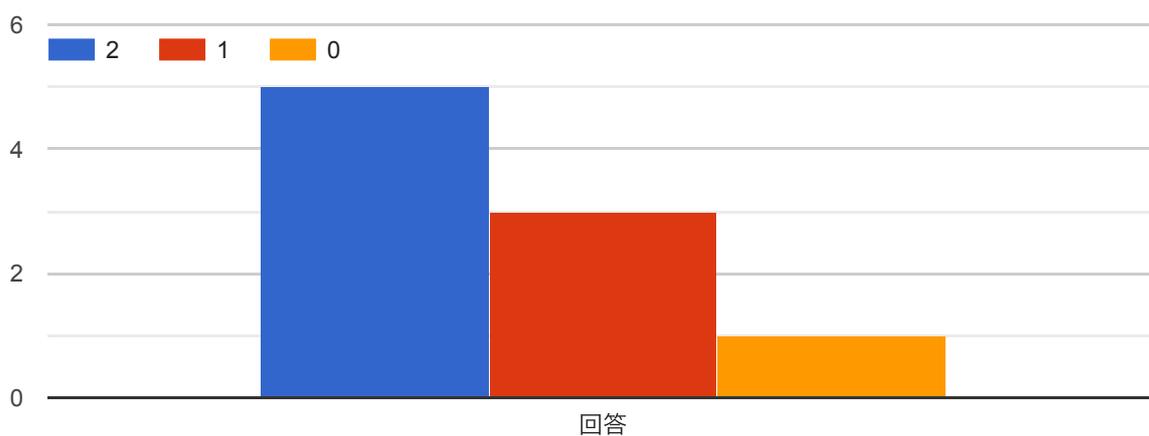
 コピー



### A-2-(3)-②

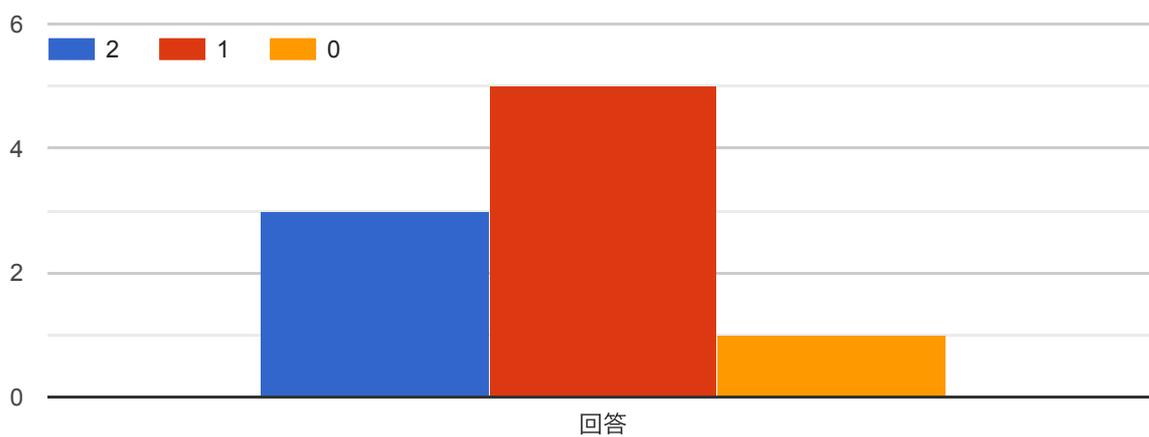
施設長等は衛生管理の取組について、リーダーシップを発揮している。

 コピー

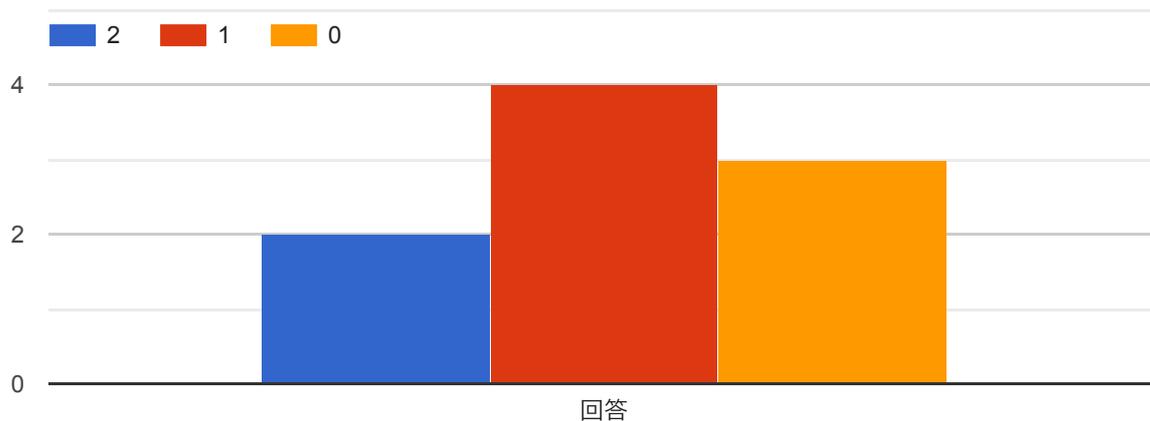


衛生管理等に関する担当者・担当部署を設置している。

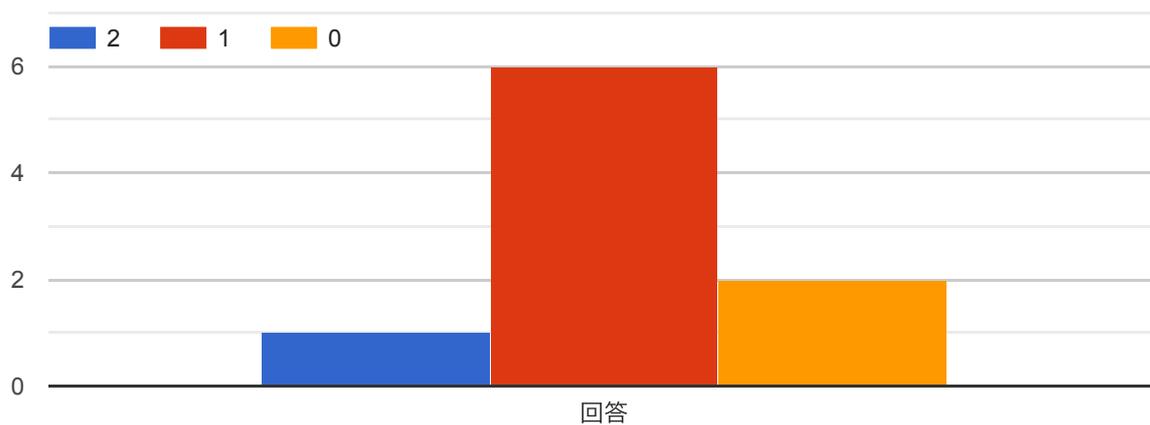
 コピー



担当者等を中心にして、定期的に衛生管理に関する検討会を開催している。



衛生管理マニュアルを作成し職員に周知、研修を行っている。

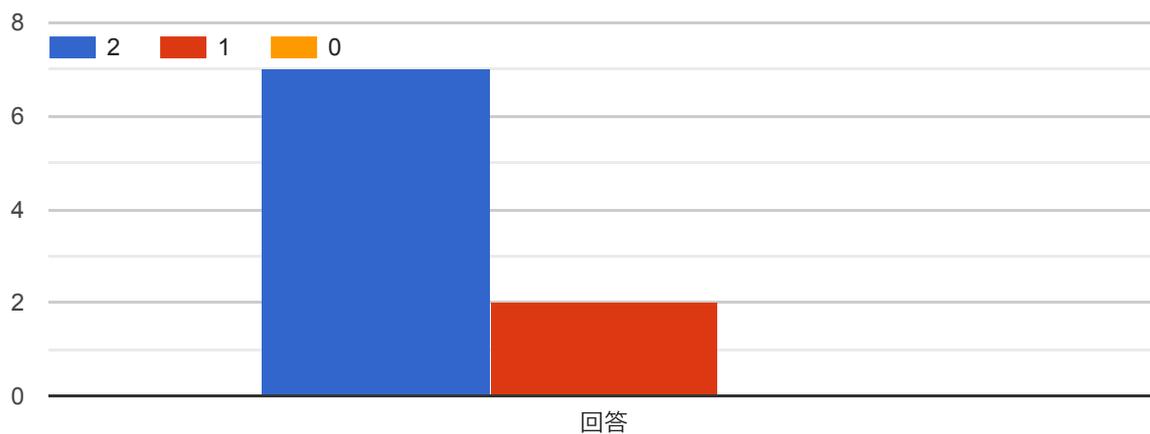


旧 A-3-(1)-④



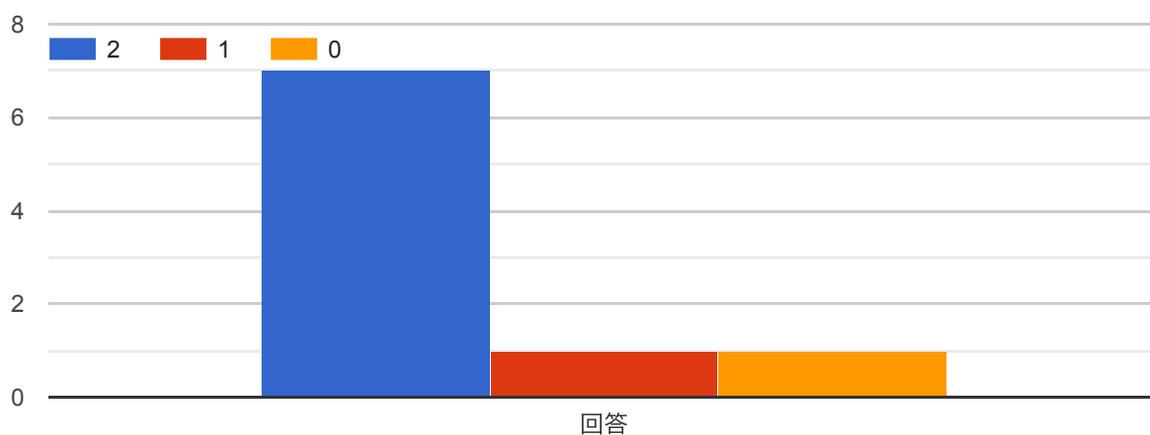
事故や災害別における対応マニュアルが整備されている。

 コピー



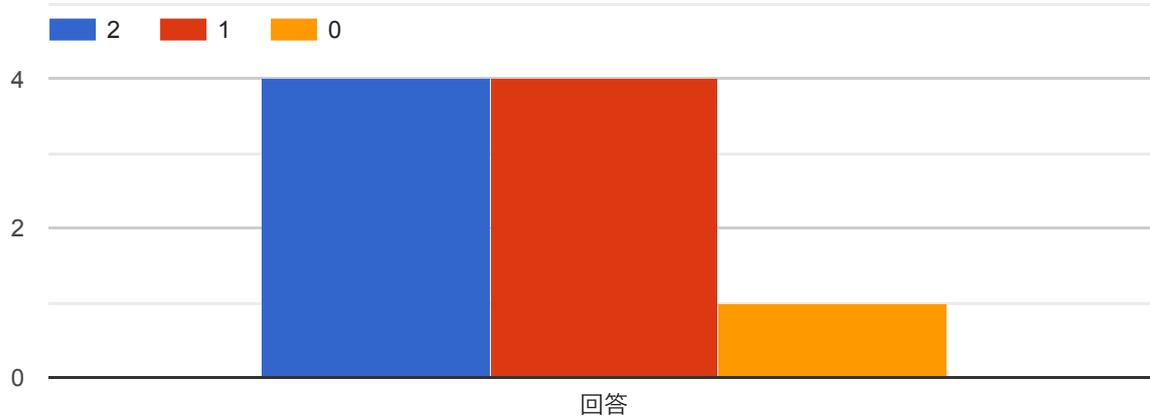
マニュアルに基づく職員に対する研修が行われている。

 コピー



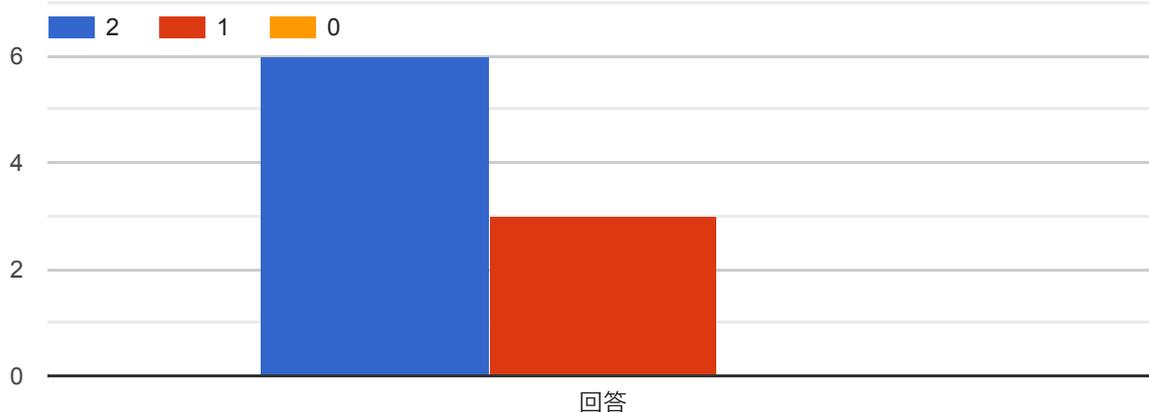
マニュアルは定期的に見直しが行われている。

 コピー



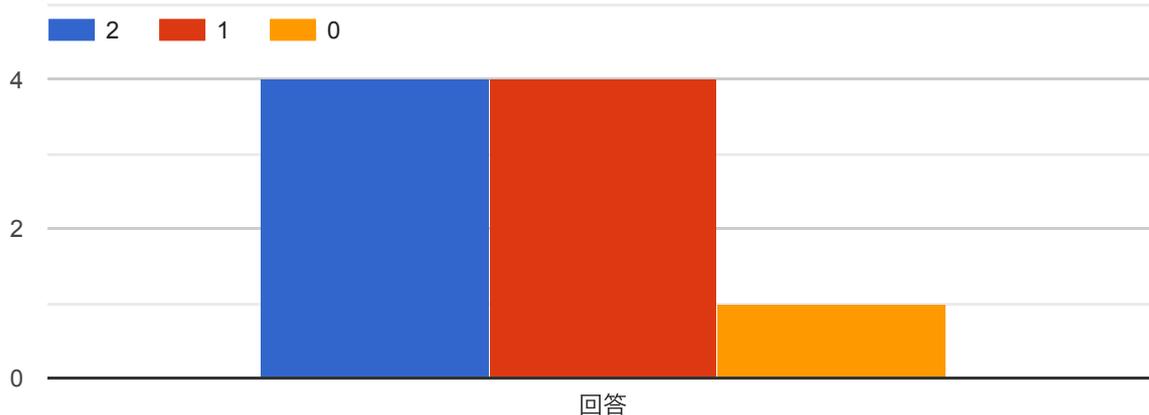
不審者の侵入時における対応マニュアルが整備されている。

 コピー



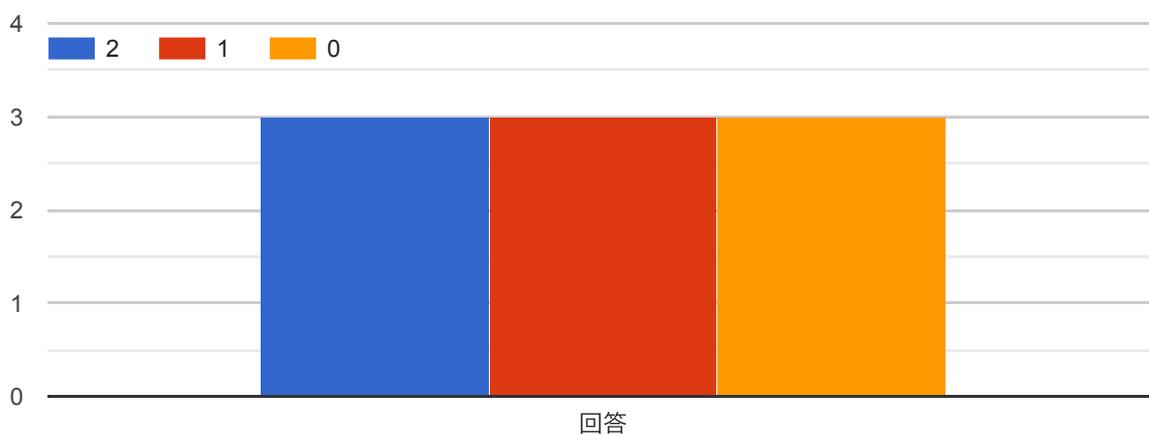
警察等との連携のもとでマニュアルに基づく職員に対する研修が行われている。

 コピー



マニュアルは定期的に見直しが行われている。

 コピー



[送信] を選択して、回答を終了してください。



このコンテンツは Google が作成または承認したものではありません。 - [利用規約](#) - [プライバシー ポリシー](#)

Does this form look suspicious? [レポート](#)

# Google フォーム



